

# 熊本商工会議所 2023年経済予測アンケート 調査結果

## KEY WORD

- ★景気の現状…前年に比べて「好転」は 1.7 % 増加し、「悪化」も 0.7% 増加となり、好転と悪化予測が拮抗する結果となった。
- ★円市場予測 …「円高傾向」が 55.7%、「円安傾向」は 44.3% で、円高傾向の予測が 11.4% 上回った。
- ★株式市場予測 …「株安傾向」が 64.0 % で、「株高傾向」が 36.0 % となり、半数以上が株安傾向に進むと予測。
- ★金利予測 …60%以上が「1.25%を維持（ほとんど変化はない）」と予想。「高金利傾向」は 31.2%、「低金利傾向」は 6.3% で、「高金利傾向」の予測が 24.9% 上回った。
- ★物価予測 …「下がる」が 24.5%、「上がる」が 75.5% となり、大半が「物価が上がる」と予測。
- ★業況の見通し…「好転」が 27.6%、「悪化」は 33.3% で、悪化予測が 5.7% 上回った。
- ★経営上の重視点 …上位3項目は「収益」94.6%、「売上高」89.1%、「コスト削減」85.0%。
- ★経営上の問題点 …上位3項目は「原油価格・材料費・仕入単価の上昇」55.7% 「人手不足」34.4%、「需要やニーズの停滞・変化」33.3%。
- ★2023年に期待すること
  - 【国内・海外】①「新型コロナの鎮静化（特効薬の開発等）」71.9%
  - ②「国内景気の回復」58.9%
  - ③「ウクライナ危機の収束」44.3%
  - 【県内】①「熊本都市圏における交通渋滞の緩和」53.1%
  - ②「TSMC進出に伴う経済波及効果」43.2%
  - ③「熊本市中心市街地の賑わい回復」39.6%となった。

## 熊本商工会議所

2022年12月

<本調査の問い合わせ>

熊本商工会議所 商工観光振興部 商工観光振興課  
TEL354-6688 FAX352-5202

# 熊本商工会議所

## 2023 年経済予測アンケート

### INDEX

1. 調査概要	1
2. 回答企業	2
3. 景気の現状	3
4. 円市場予測	4
5. 株式市場予測	5
6. 金利予測	6
7. 物価予測	7
8. 業況の見通し	8
9. 経営上の重視点	16
10. 経営上の問題点	18
11. 2023 年に期待すること	19

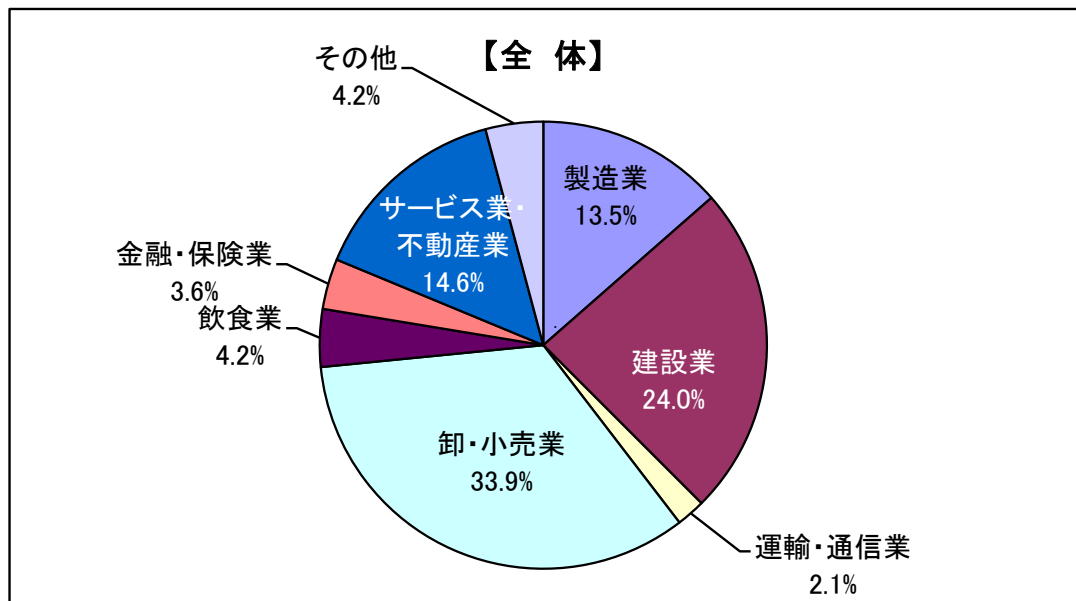
※ 巻末…「2023 年経済予測アンケート」調査用紙

# 調査概要

1. 調査期間 令和4年 11 月 24 日(木)～11 月 30 日(水)
2. 対象者 熊本商工会議所 役員並びに議員 99 名  
熊本商工会議所経営動向調査モニター企業代表者 401 名  
(経営動向調査モニター企業は、小規模企業であるため  
報告書においては小規模企業と表記する)
3. 配布数 500 名
4. 調査方法 調査用紙配布:FAX・メール又は郵便送付  
調査票回収:FAXまたはWEBフォームによる回答
5. 回答者数 192 名(有効回答率 38.4%)
6. 調査機関 熊本商工会議所

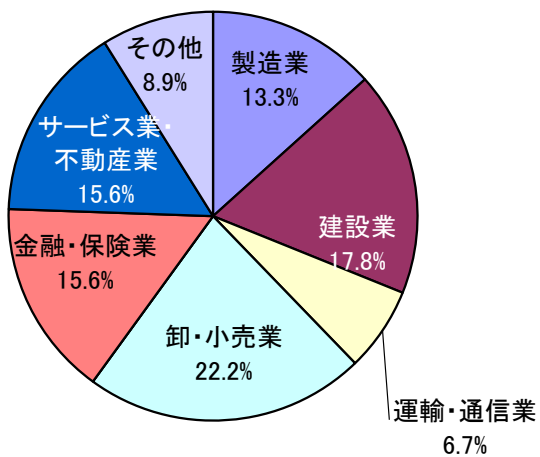
※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100%  
とはならない。

## 回答企業

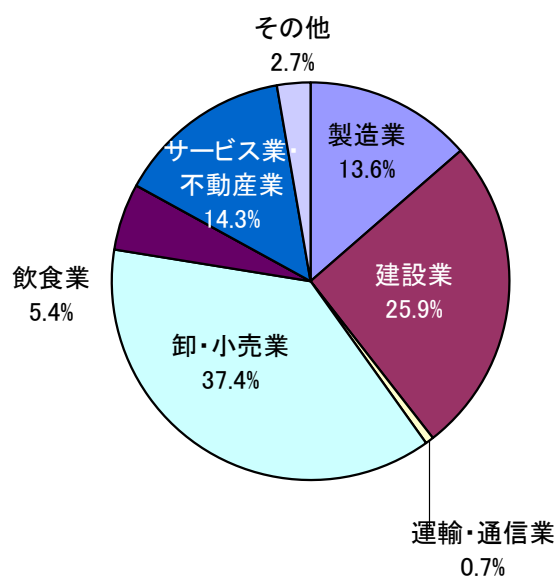


## 規模別の回答企業

### 【役員・議員】

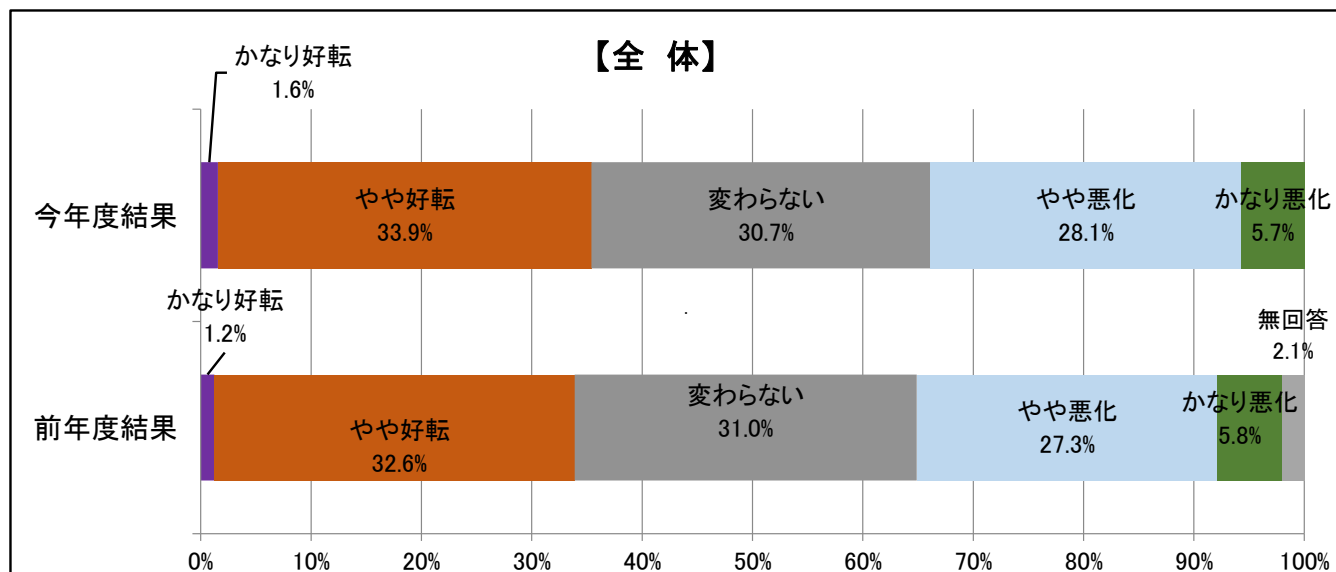


### 【小規模企業】



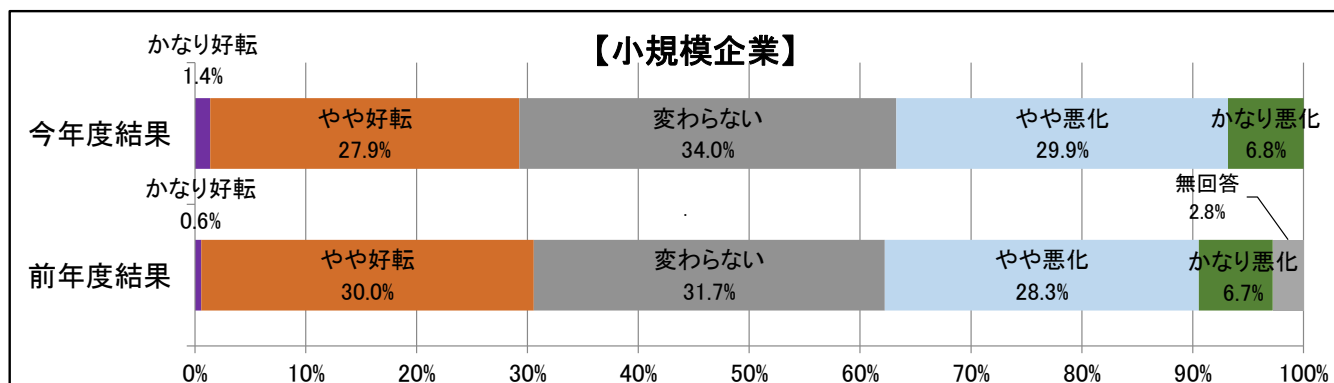
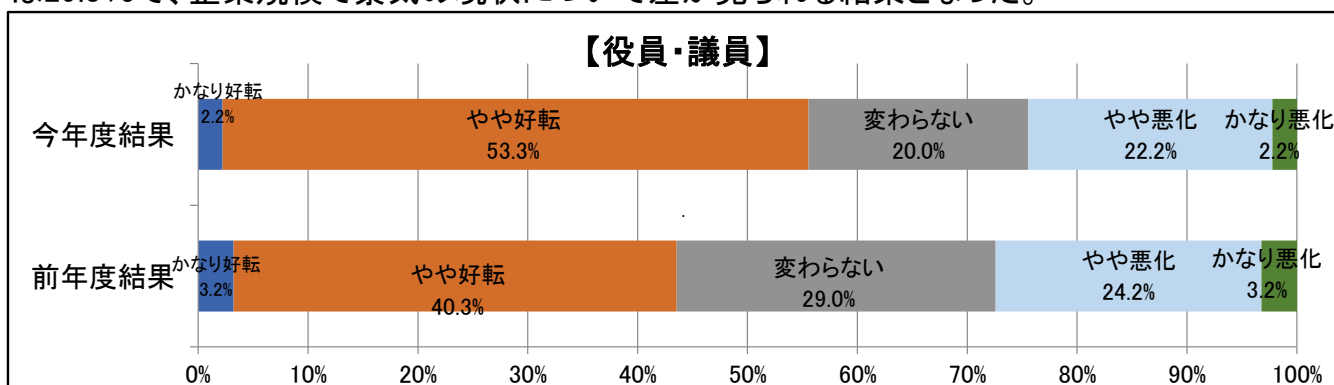
## 2022年11月 景気の現状

「好転」35.5%、「悪化」33.8%、「変わらない」30.7%となり、前年に比べて「好転」が1.7%増加、「悪化」も0.7%増加、好転と悪化予測が拮抗する結果となった。



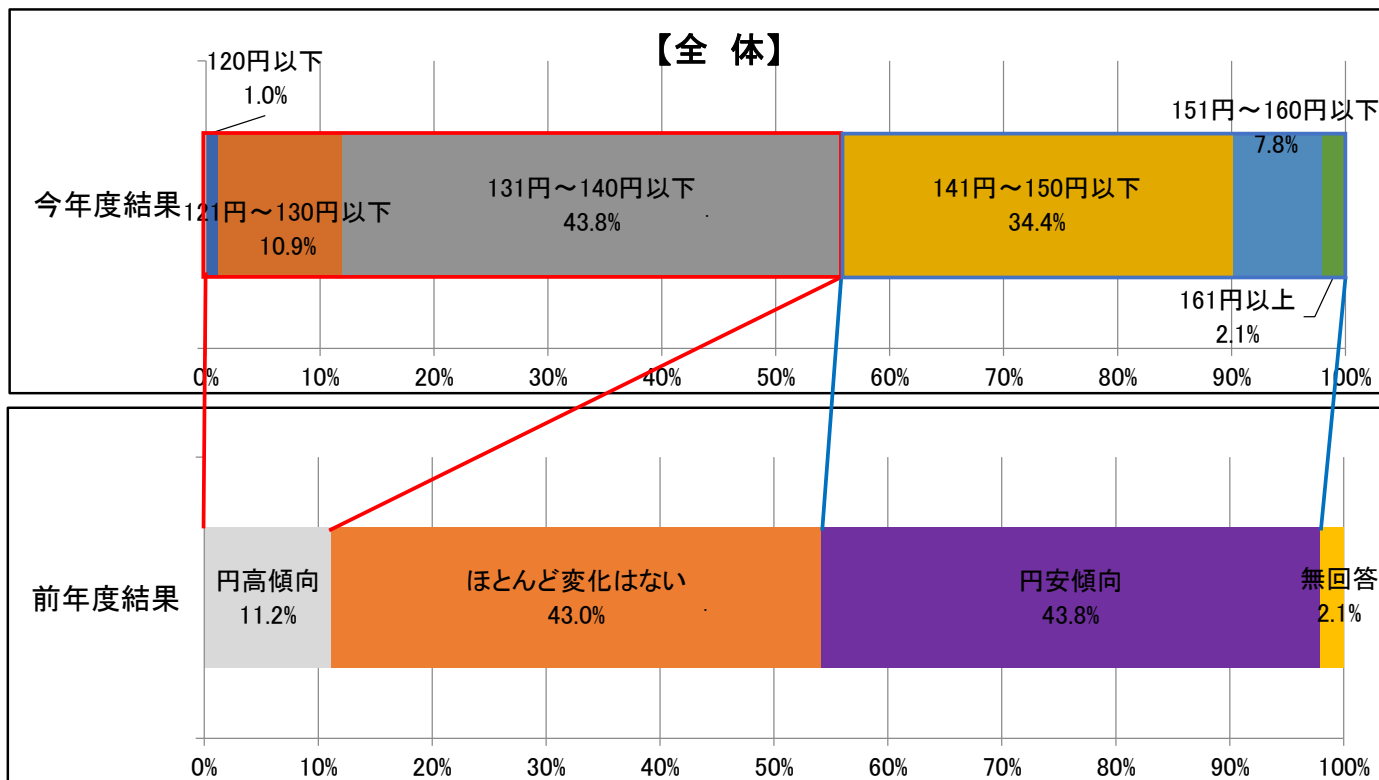
## 2022年11月 規模別の景気の現状

【役員・議員】は「好転」が55.5%で「悪化」は24.4%、【小規模企業】は「悪化」が36.7%、「好転」は29.3%で、企業規模で景気の現状について差が見られる結果となった。

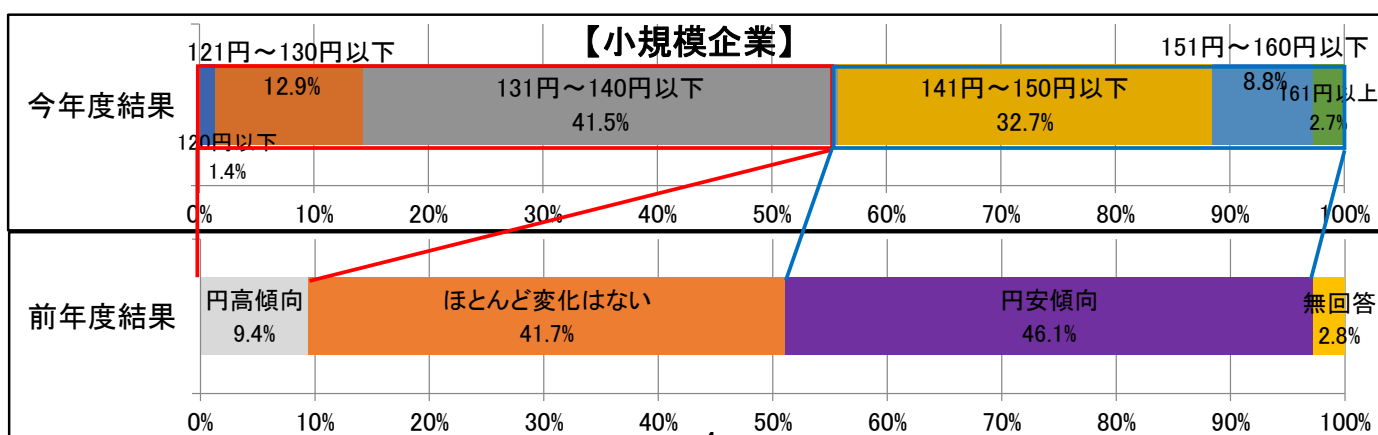
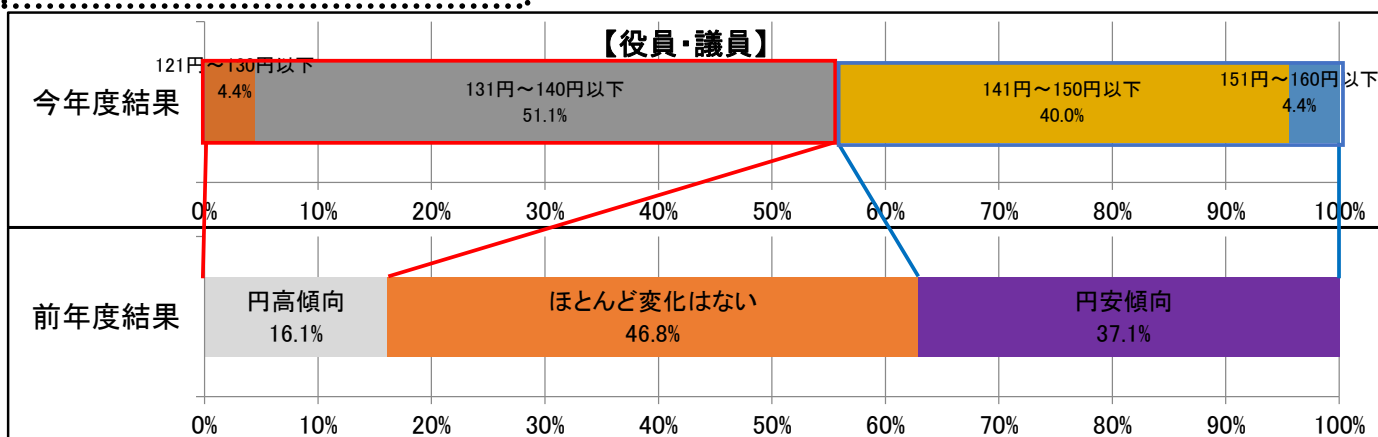


## 円市場予測

「円高傾向」が55.7%(対前年比+44.5%)、「円安傾向」は44.3%(対前年比+0.5%)で円高傾向の予測が11.4%上回った。

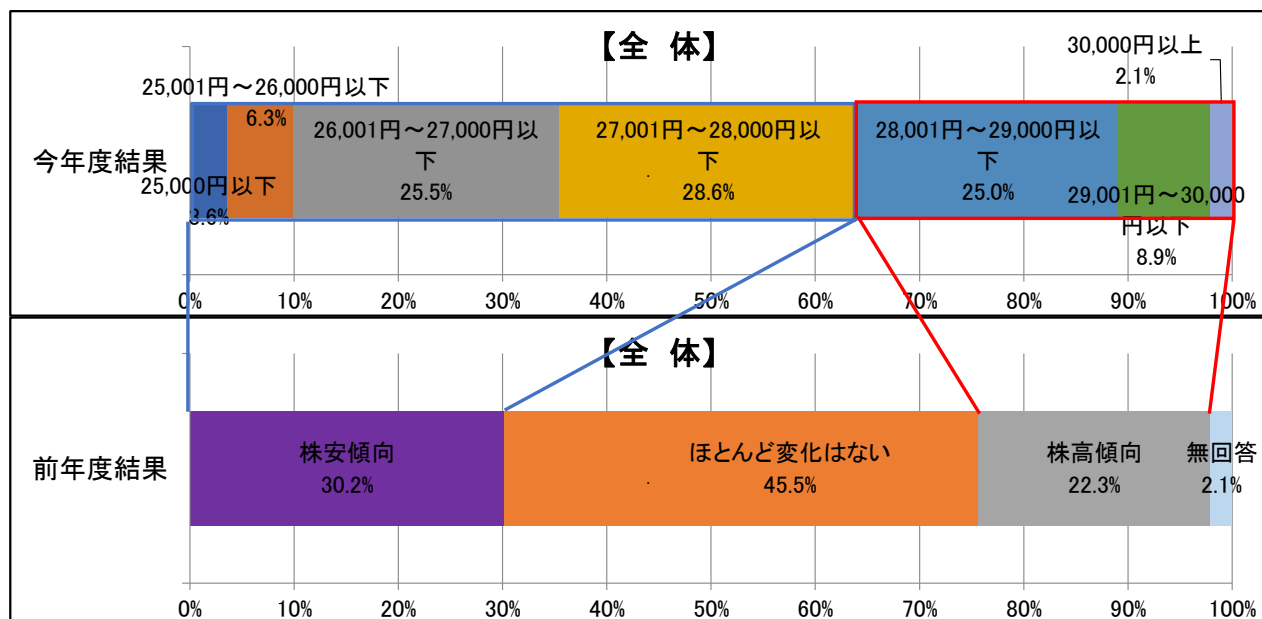


## 規模別の円市場予測



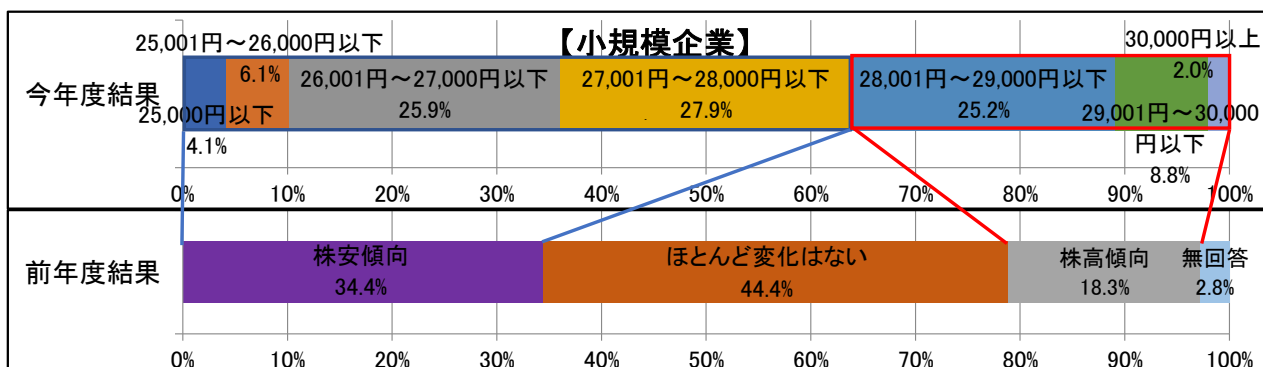
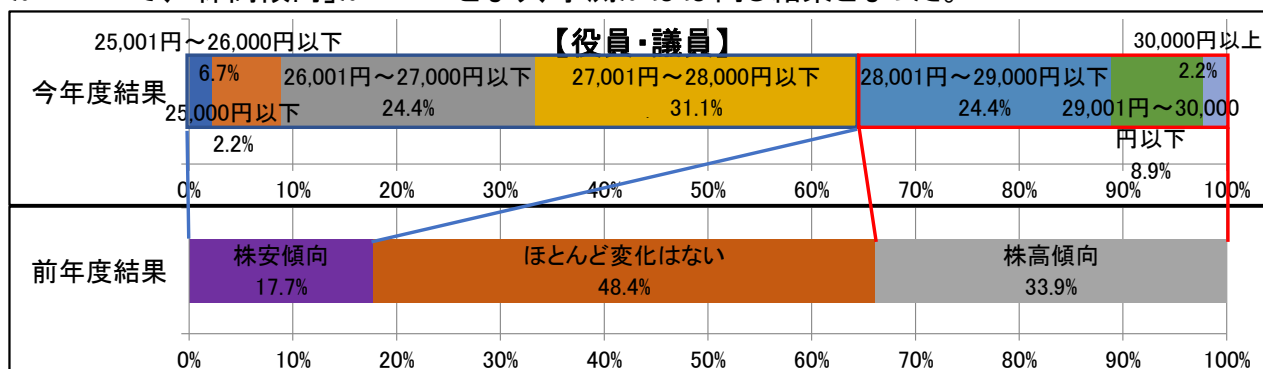
## 株式市場予測

「株安傾向」が64.0%(対前年比+33.8%)、「株高傾向」が36.0%(対前年比+13.7%)となり、半数以上が株安傾向に進むと予測。



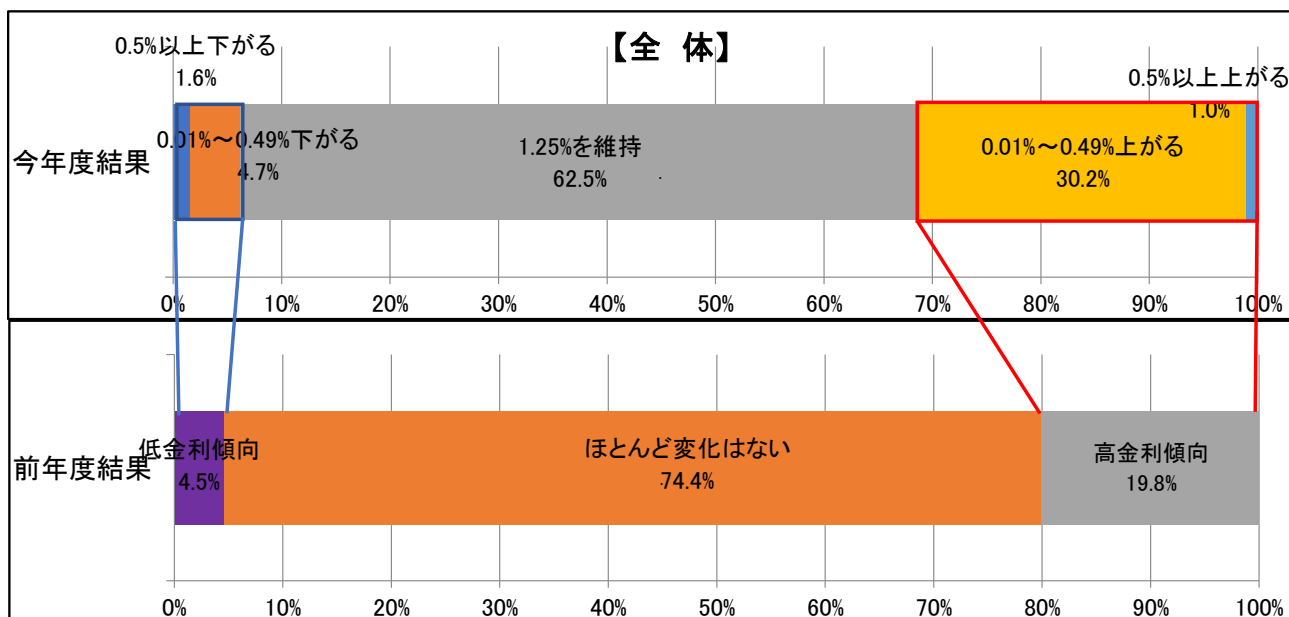
## 規模別の株式市場予測

【役員・議員】は「株安傾向」が64.4%で、「株高傾向」が35.5%、【小規模企業】では「株安傾向」が64.0%で、「株高傾向」が36.0%となり、予測がほぼ同じ結果となった。

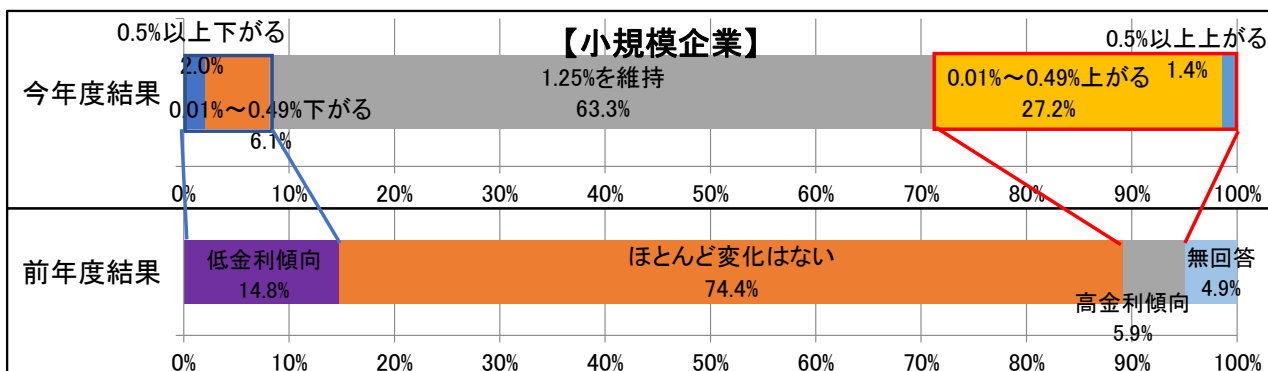
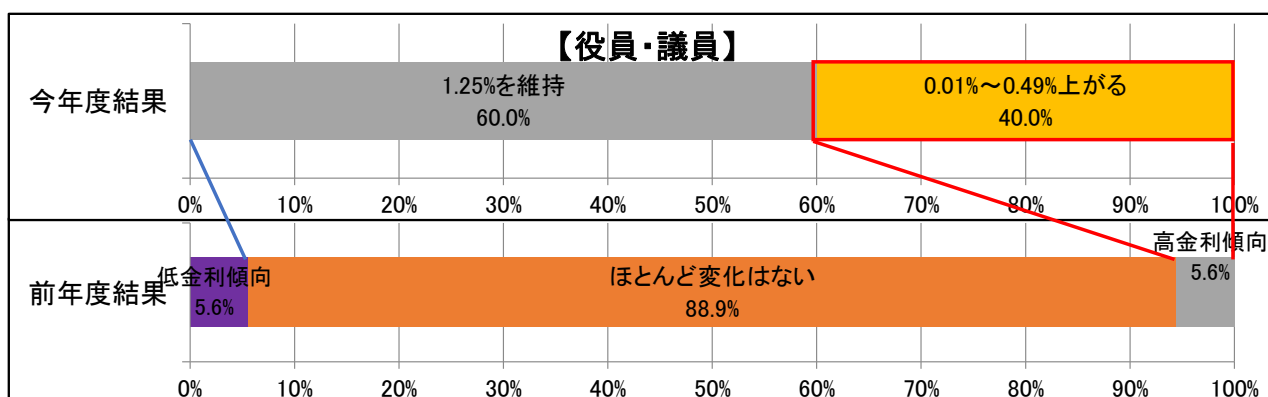


## 金利予測

60%以上が「1.25%を維持(ほとんど変化はない)」と予想する一方、「高金利傾向」は31.2% (対前年比+11.4%)、「低金利傾向」は6.3%(対前年比+1.8%)で、「高金利傾向」の予測が24.9%上回った。



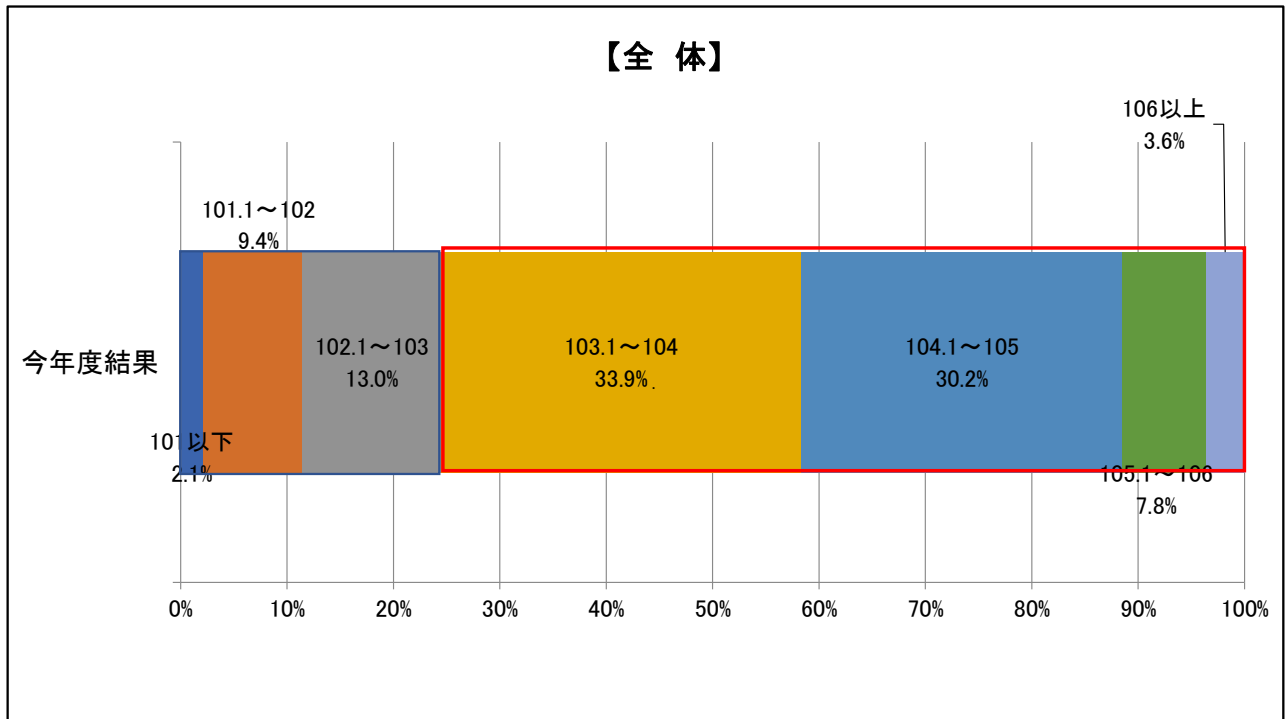
## 規模別の金利予測



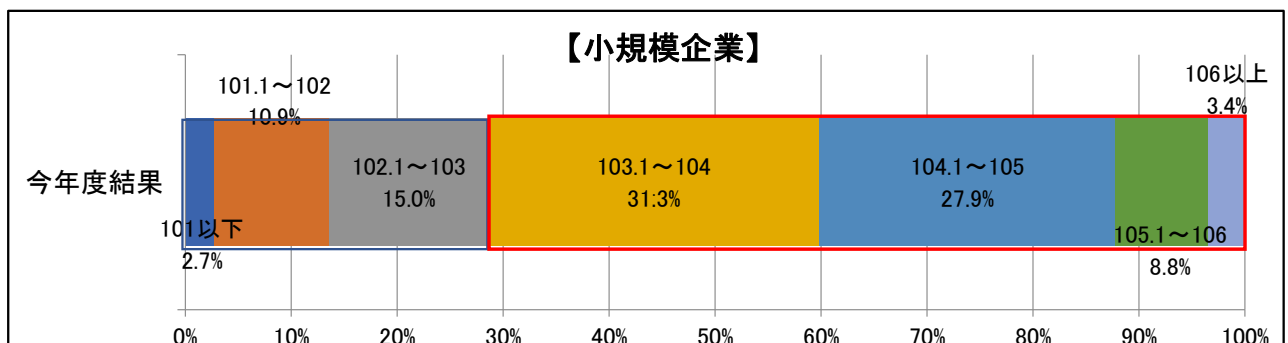
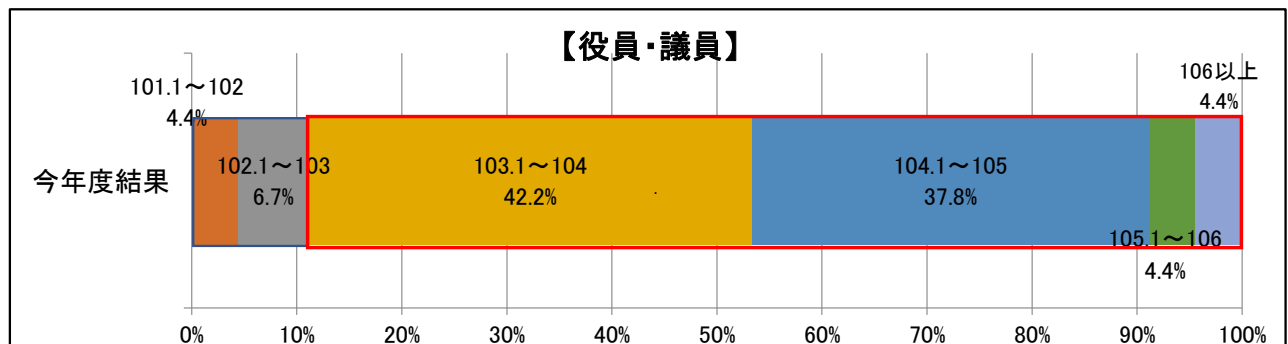


## 物価予測

熊本市の消費者物価指数の見通しについて、「下がる」が24.5%、「上がる」が75.5%を占めており、大半が「物価が上がる」と予測。



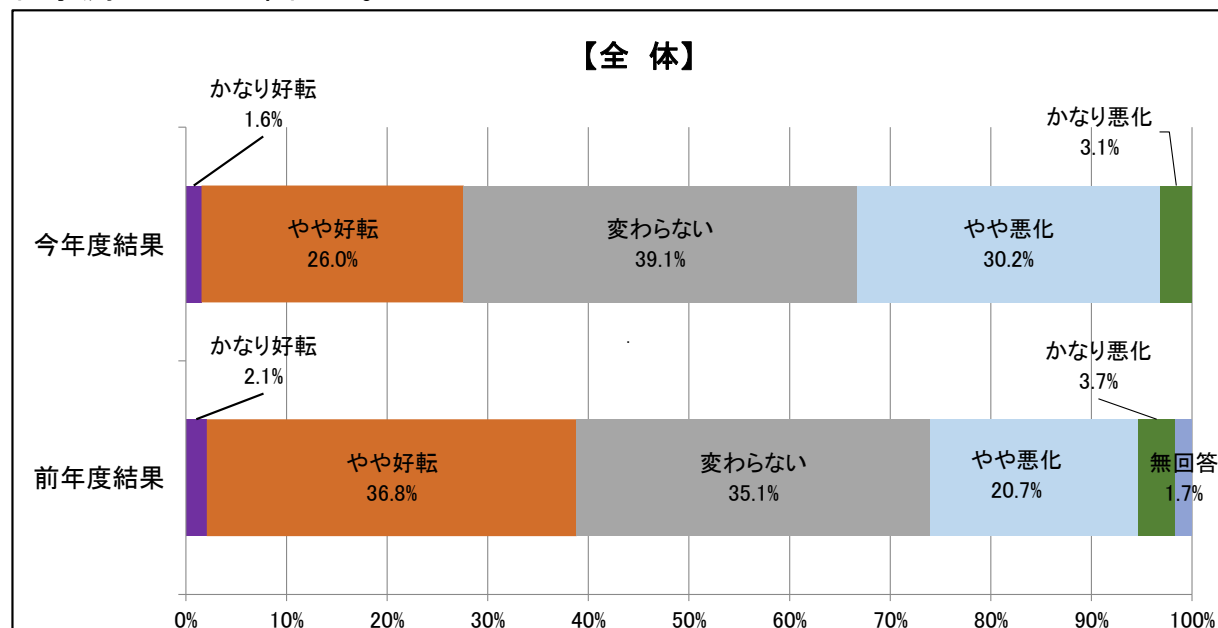
## 規模別の物価予測



## 2023年 業況の見通し

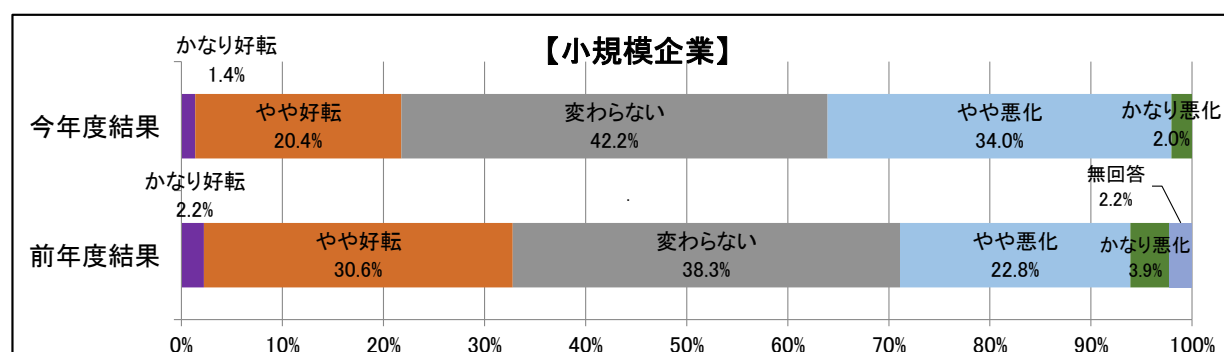
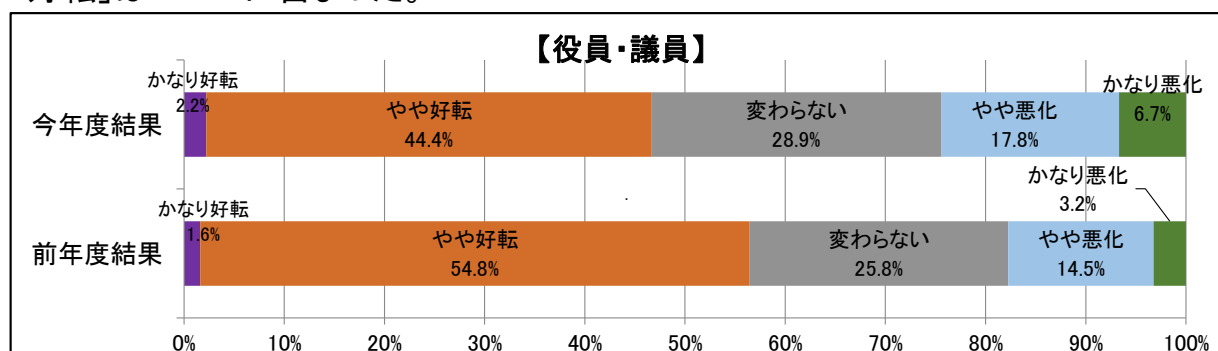
### 全業種

「好転」が27.6%（対前年比-11.3%）、「悪化」は33.3%（対前年比+8.9%）で、悪化予測が5.7%上回った。



## 2023年 規模別の業況の見通し

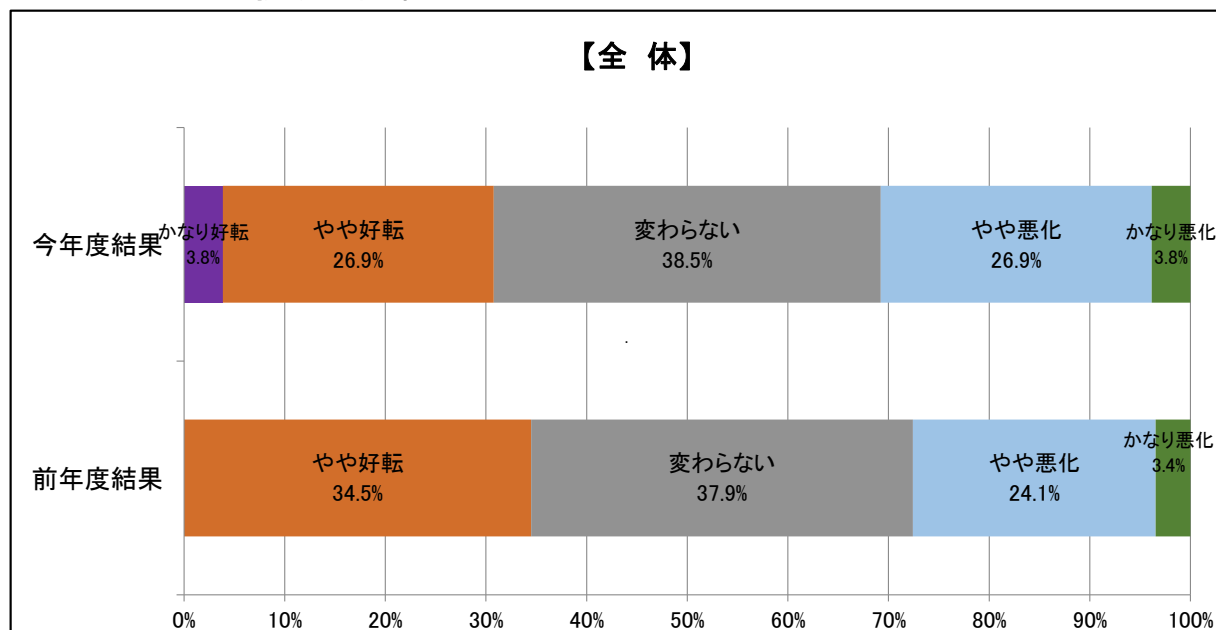
【役員・議員】は「好転」が46.6%と半数近くを占めているものの、【小規模企業】では「好転」は21.8%に留まった。



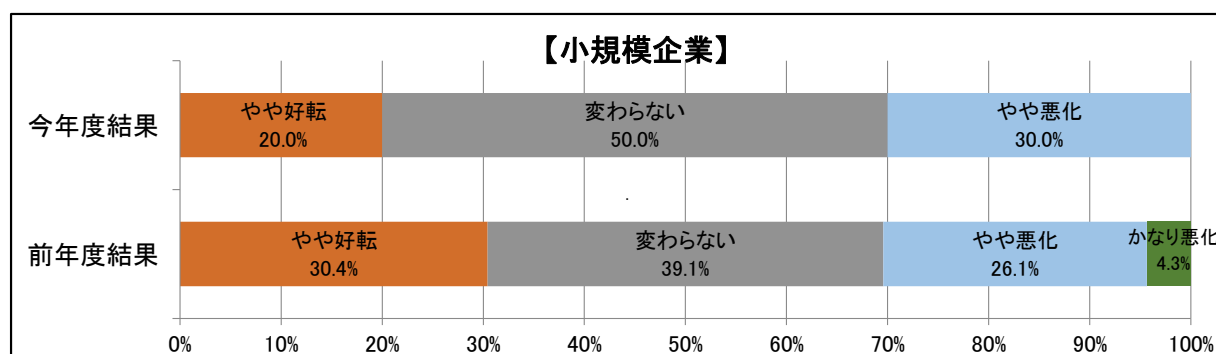
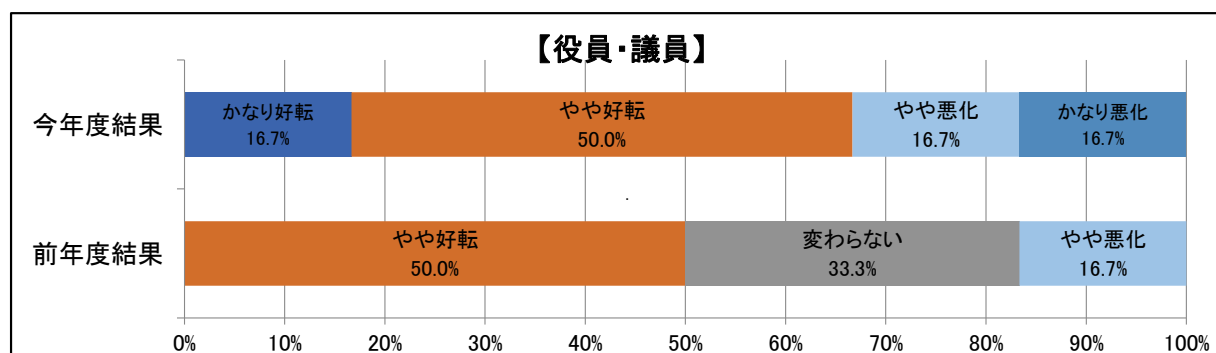
## 2023年 業況の見通し

### 製造業

「好転」が30.7%（対前年比-3.8%）、「悪化」は30.7%（対前年比+3.2%）で、好転と悪化予測が拮抗する結果となった。



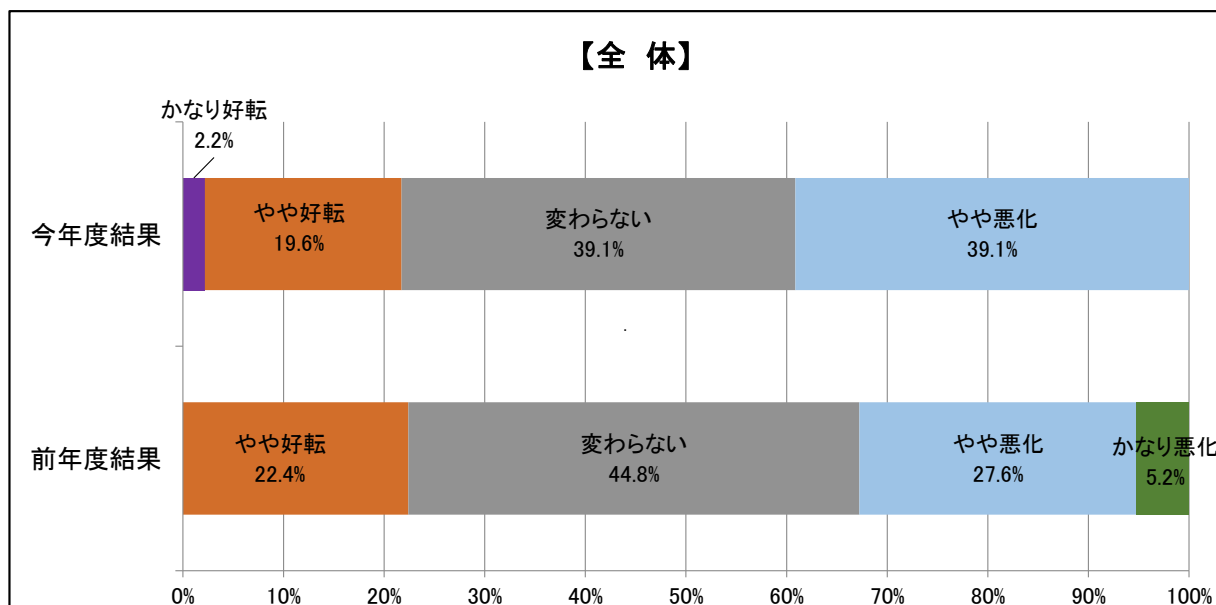
【役員・議員】は「好転」が66.7%となったものの、【小規模企業】では「好転」は20.0%となり、企業規模で業況見通しの判断が分かれた。



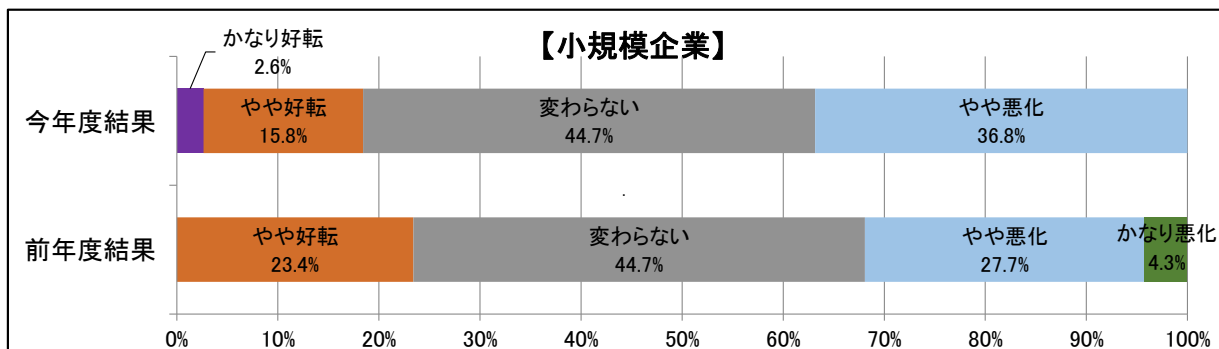
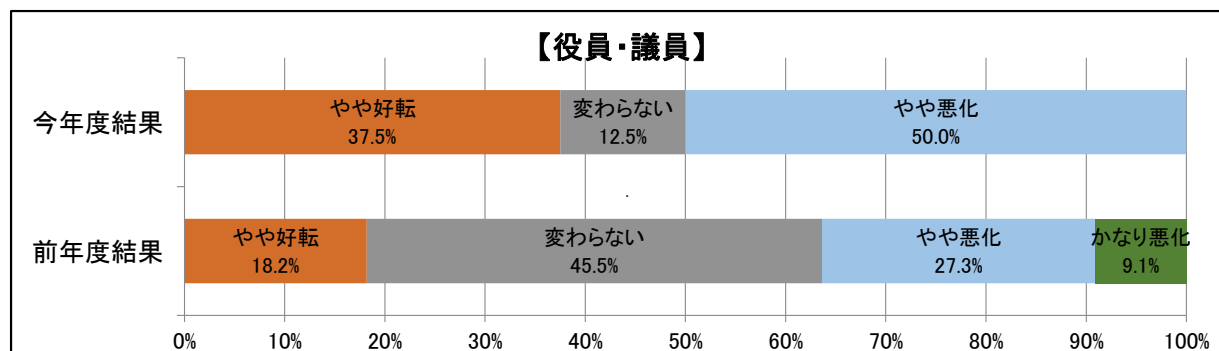
## 2023年 業況の見通し

### 建設業

「好転」が21.8%（対前年比-0.6%）、「悪化」は39.1%（対前年比+6.3%）で、悪化予測が好転予測を17.3%上回った。



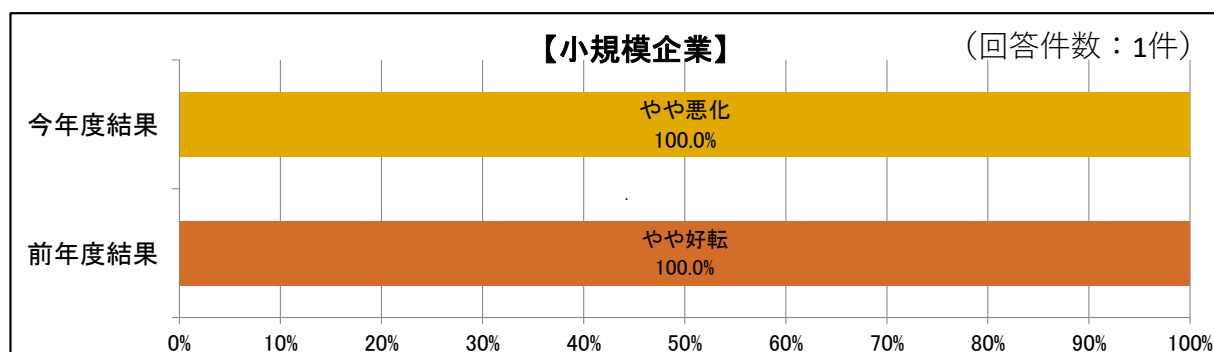
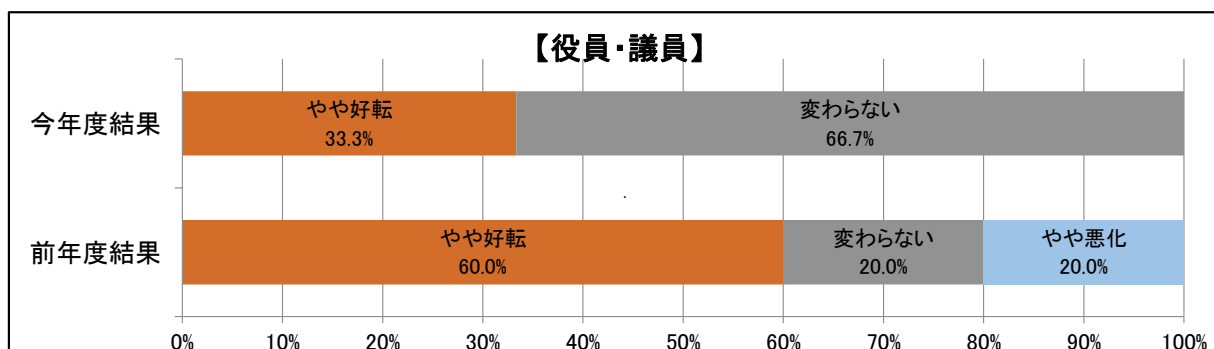
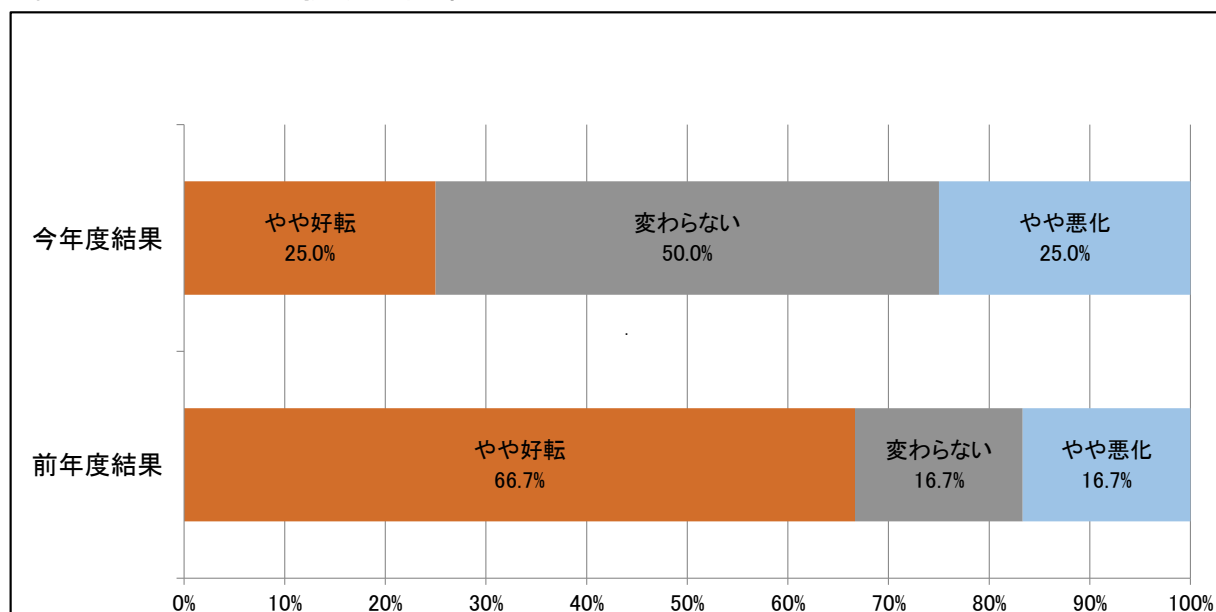
前年に比べ、【役員・議員】、【小規模企業】ともに「悪化」の割合は増加し、「好転」を上回った。



## 2023年 業況の見通し

### 運輸・通信業

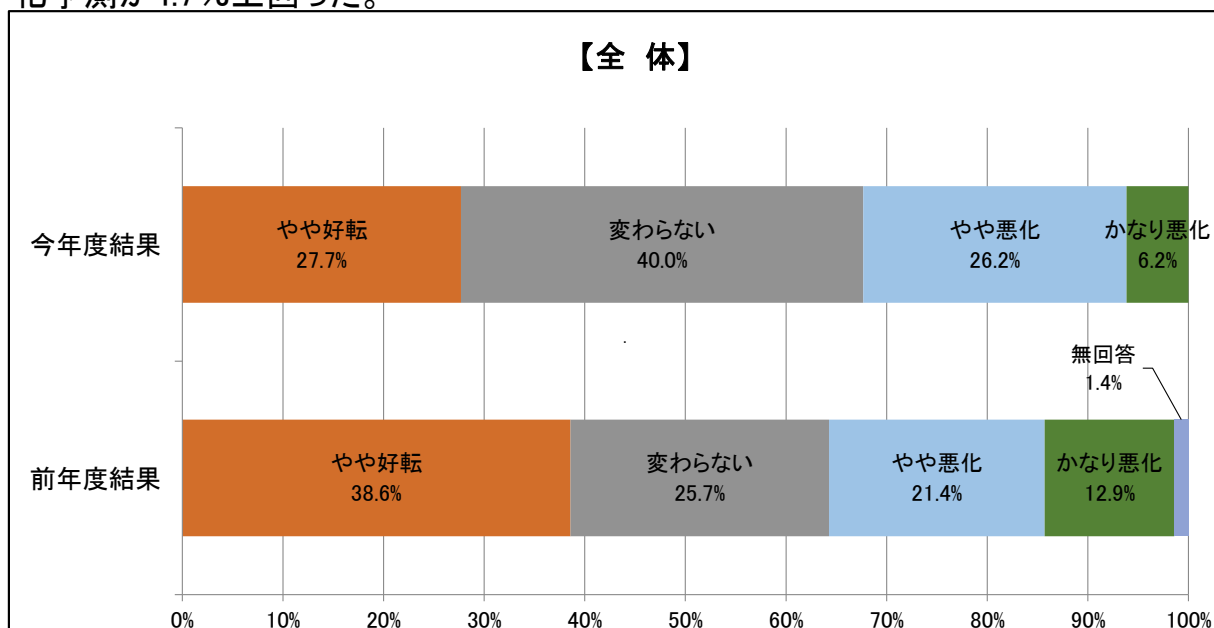
「好転」が25.0%（対前年比-41.7%）、「悪化」は25.0%（対前年比+8.3%）で、好転と悪化予測が拮抗する結果となった。



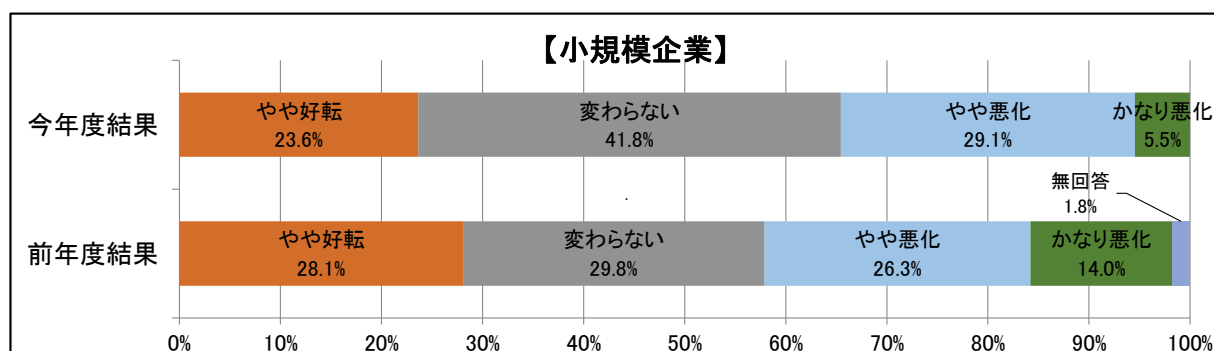
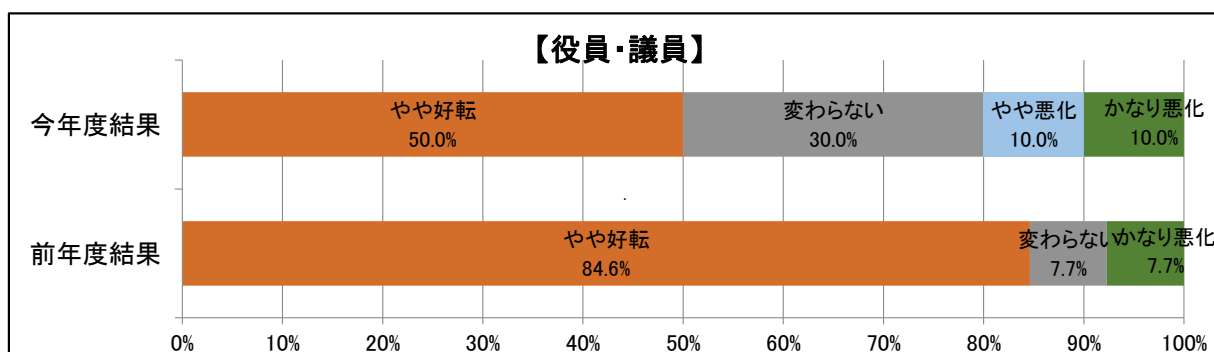
## 2023年 業況の見通し

### 卸売・小売業

「好転」が27.7%（対前年比-10.9%）、「悪化」は32.4%（対前年比-1.9%）で、悪化予測が4.7%上回った。



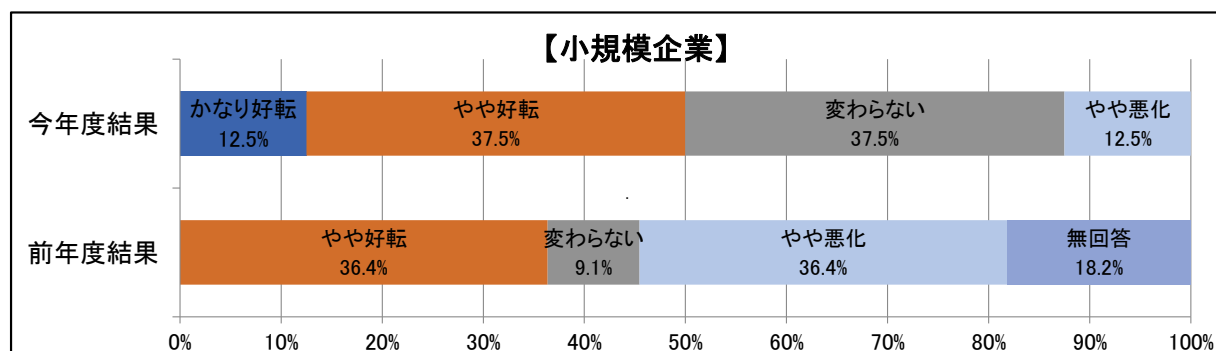
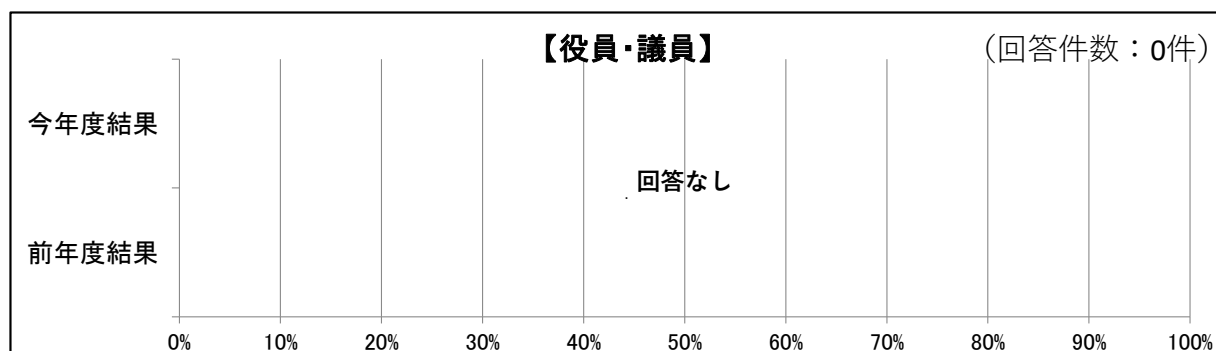
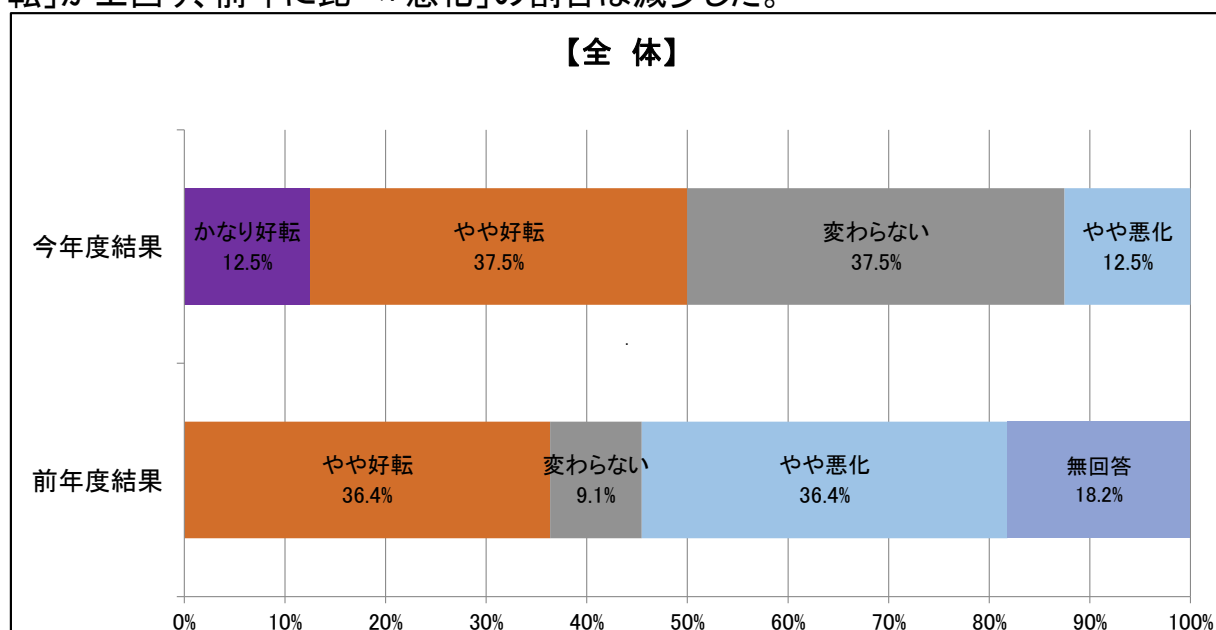
【役員・議員】は「好転」が50.0%と半数を占めたものの、【小規模企業】では「悪化」が34.6%で「好転」の23.6%を11.0%上回った。



## 2023年 業況の見通し

### 飲食業

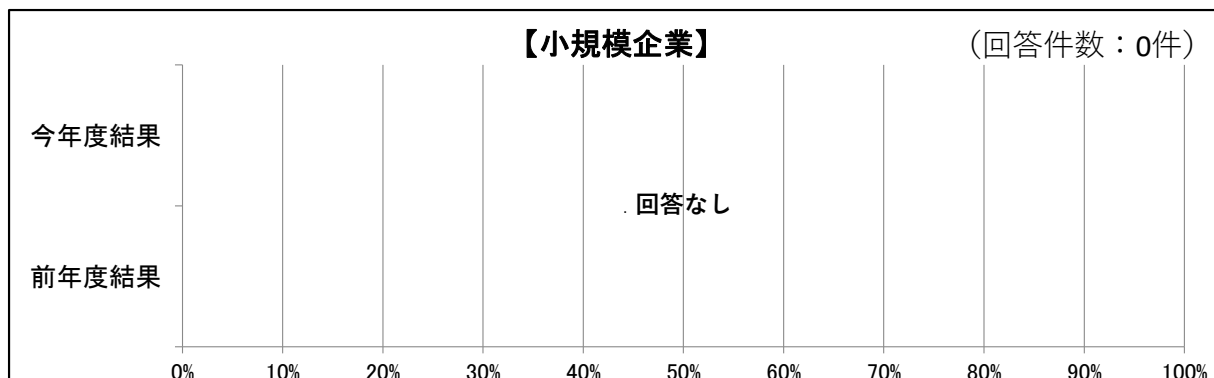
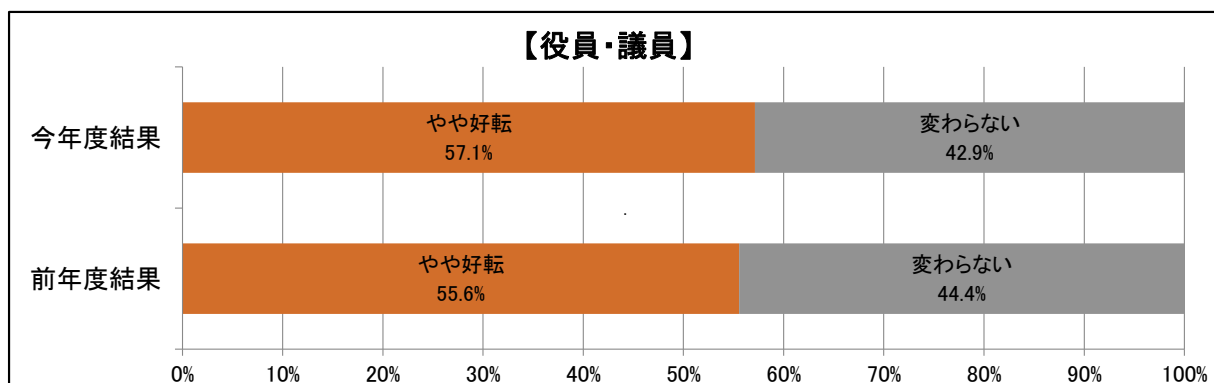
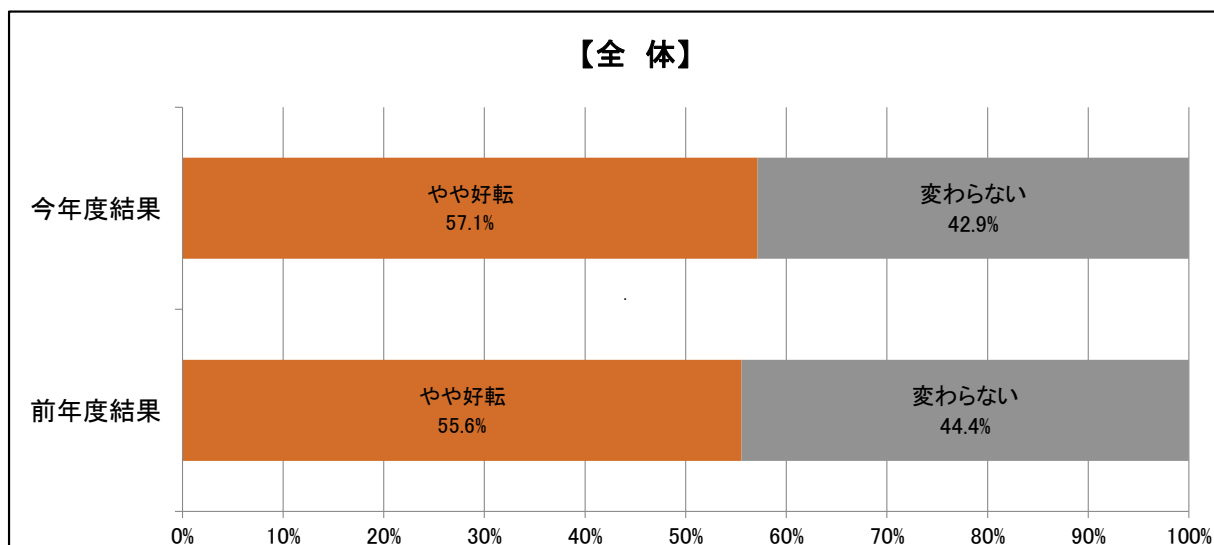
「好転」が50.0%（対前年比+13.6%）、「悪化」は12.5%（対前年比-23.9%）で「好転」が上回り、前年に比べ「悪化」の割合は減少した。



## 2023年 業況の見通し

### 金融・保険業

「好転」が57.1%（対前年比+1.5%）と過半数を占める結果となった。

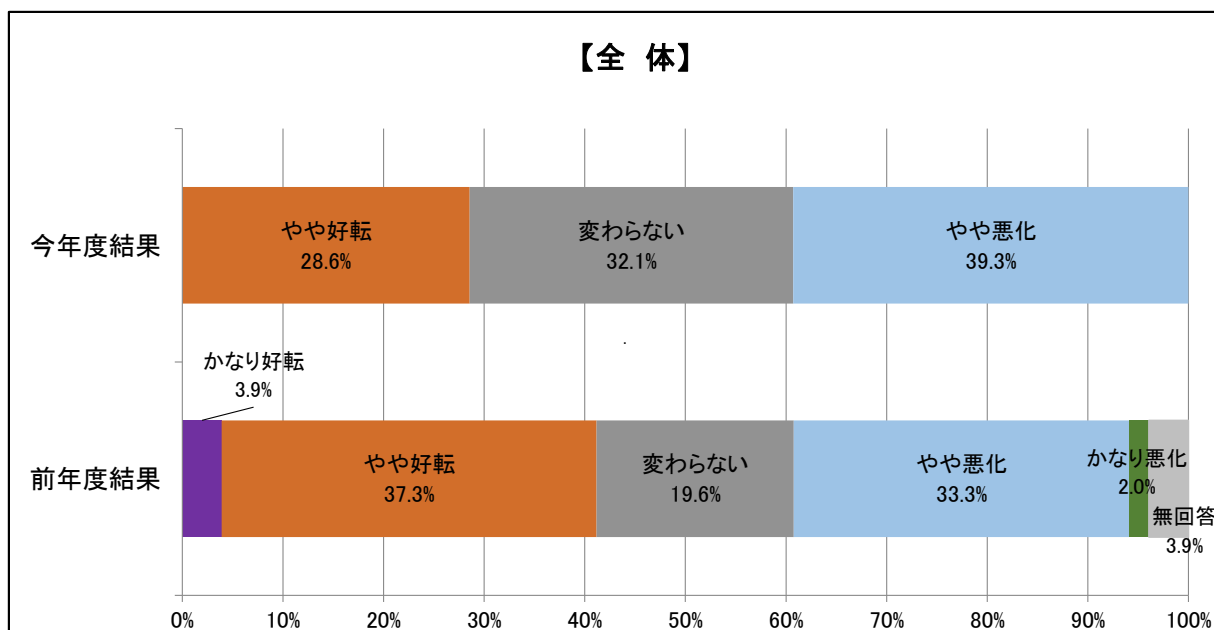




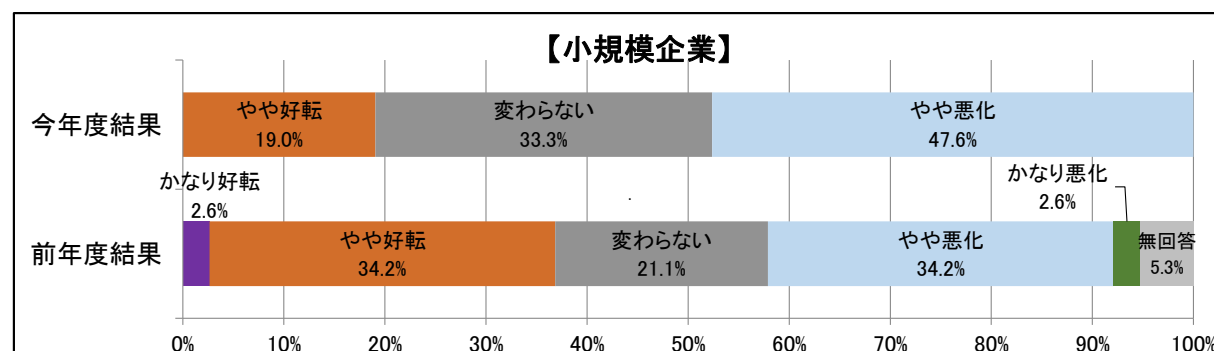
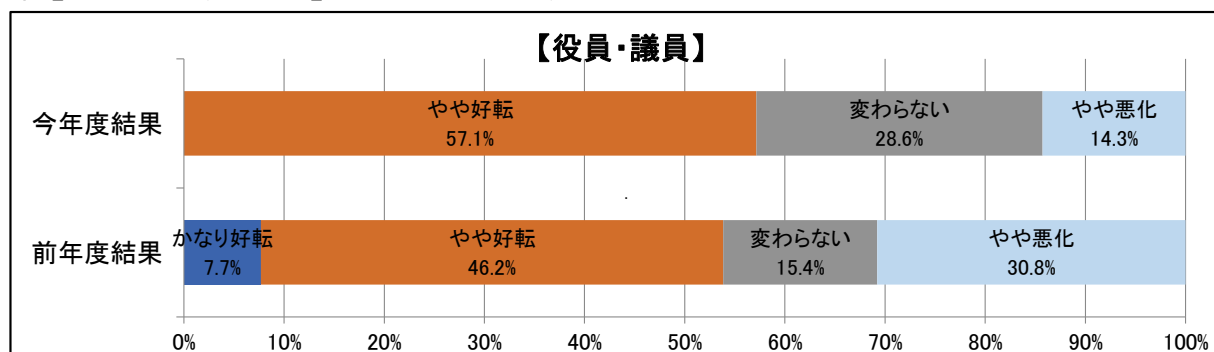
## 2023年 業況の見通し

### サービス業・不動産業

「好転」は28.6%(対前年比-12.6%)、「悪化」が39.3%(対前年比+4.0%)で、悪化予測が10.7%上回った。



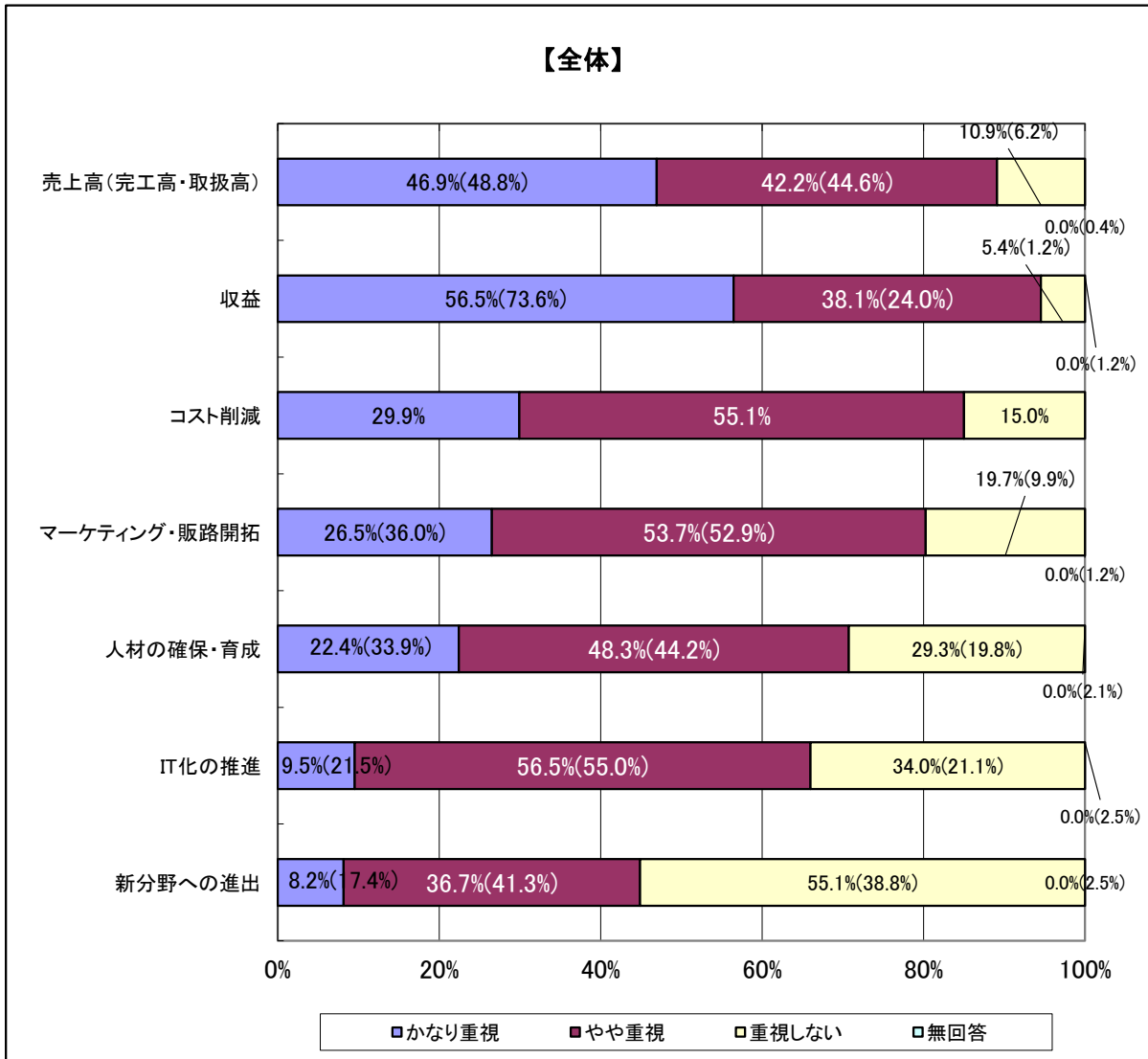
【役員・議員】は「好転」が57.1%と過半数を占めたものの、【小規模企業】では「好転」が19.0%、「悪化」が47.6%となり、悪化予測が28.6%上回った。



## 経営上の重視点

※グラフの( )内は、前年数値です。

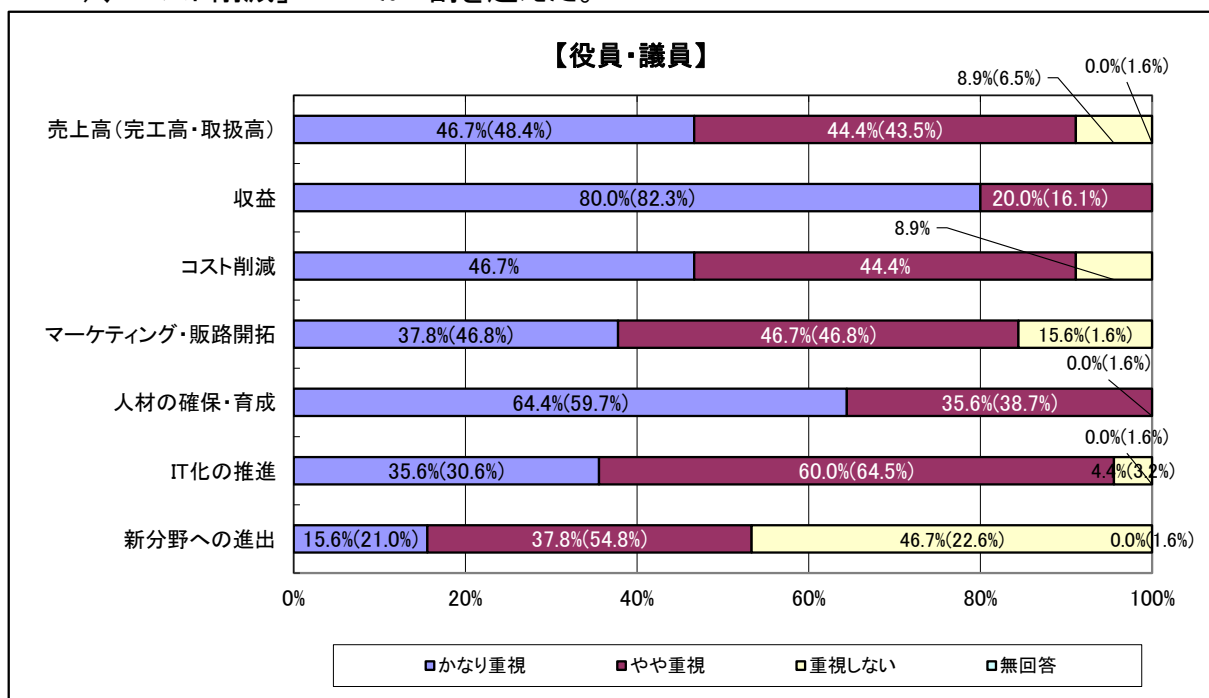
「重視する」割合が高いのは「収益」94.6%(対前年比-3.0%)、次いで「売上高」89.1%(対前年比-4.3%)、「コスト削減」85.0%となった。



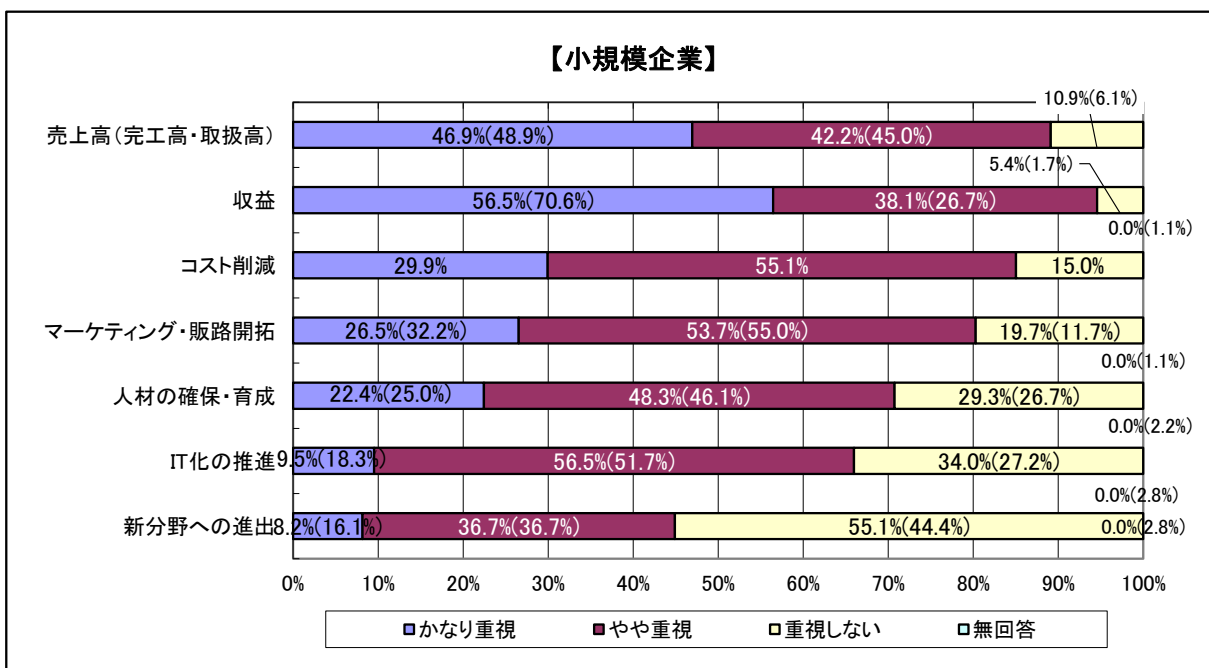
## 規模別の経営上の重視点

※グラフの( )内は、前年数値です。

【役員・議員】では、「収益」100.0%(前年比+1.6%)、「人材の確保・育成」100.0%(対前年比+1.6%)が最も高く、「IT化の推進」95.6%(対前年比+0.5%)、「売上高」91.1%(対前年比-0.8%)、「コスト削減」91.1%が9割を超えた。



【小規模企業】では、「収益」94.6%(対前年比-2.7%)、「売上高」89.1%(対前年比-4.8%)、「コスト削減」85.0%、「IT化の推進」が66.0%で、【役員議員】の95.6%に比べると低くなっており、規模によって経営上の重視点の違いが見られた。

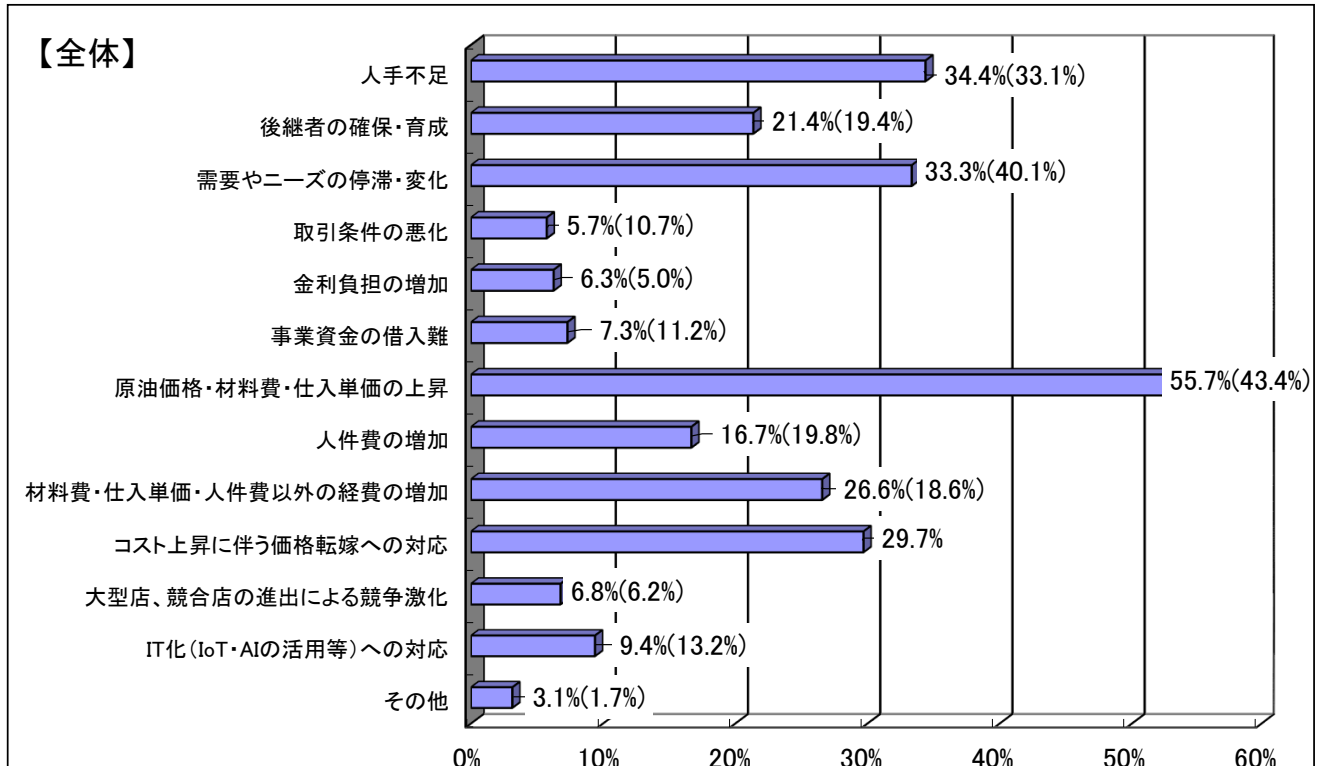


## 経営上の問題点

(複数回答)

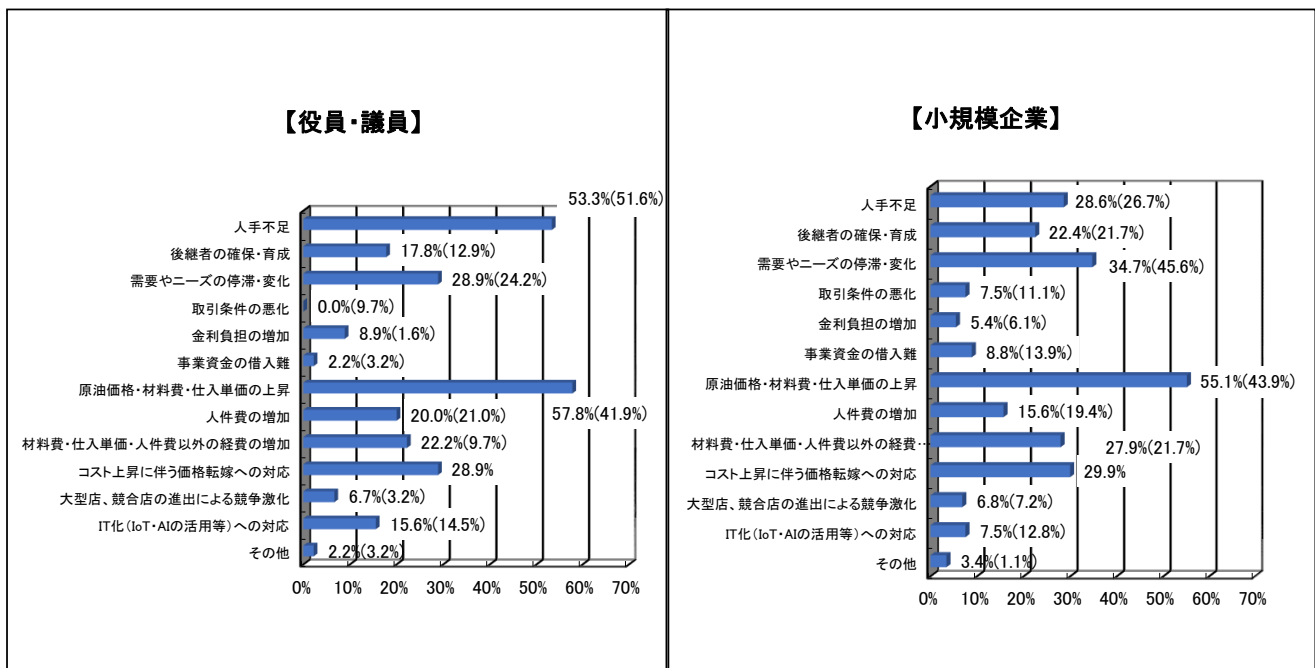
※グラフの( )内は、前年数値です。

「原油価格・材料費・仕入単価の上昇」55.7%(対前年比+12.3%)、「人手不足」34.4%(対前年比+1.3%)、「需要やニーズの停滞・変化」33.3%(対前年比-6.8%)がトップ3。次いで、「コスト上昇に伴う価格転嫁への対応」29.7%と高く、円安基調の長期化、物価高の影響を反映した結果となった。



## 規模別の経営上の問題点

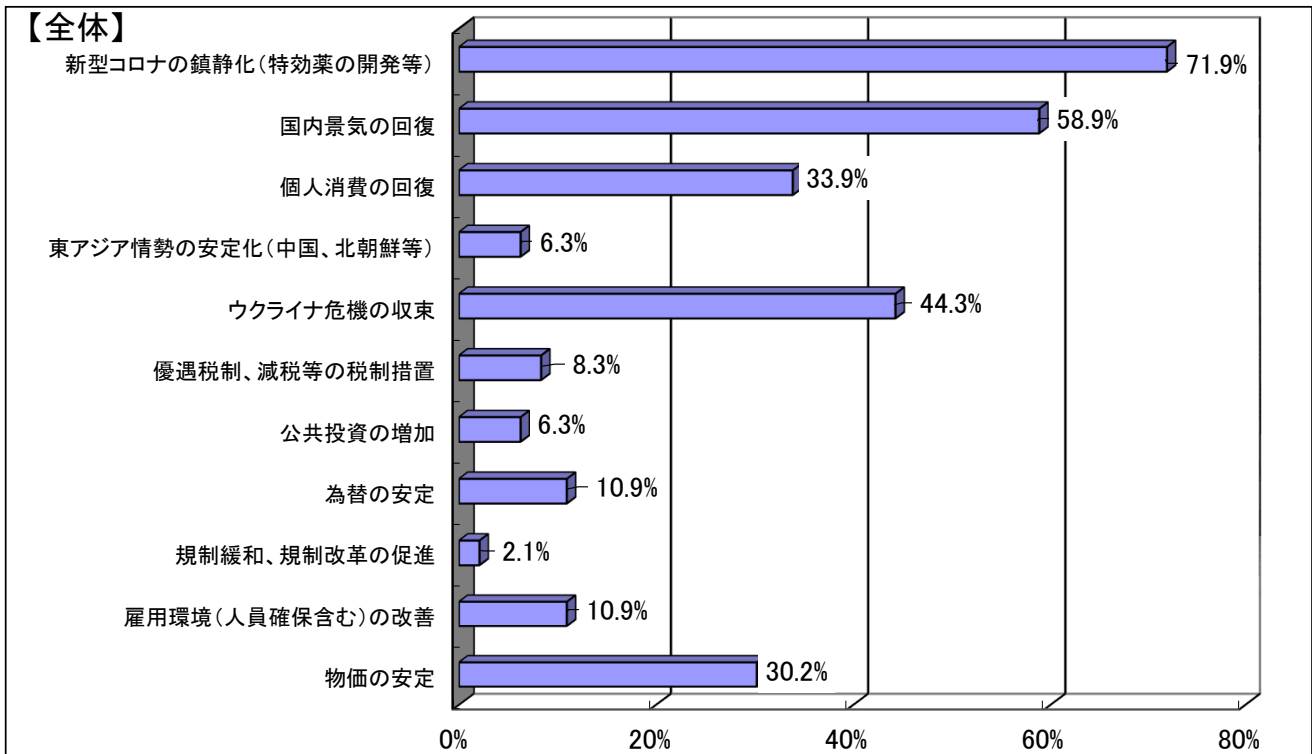
【役員・議員】、【小規模企業】ともに「原油価格・材料費・仕入単価の上昇」がトップ。



## 2023年に期待すること【国内・海外】

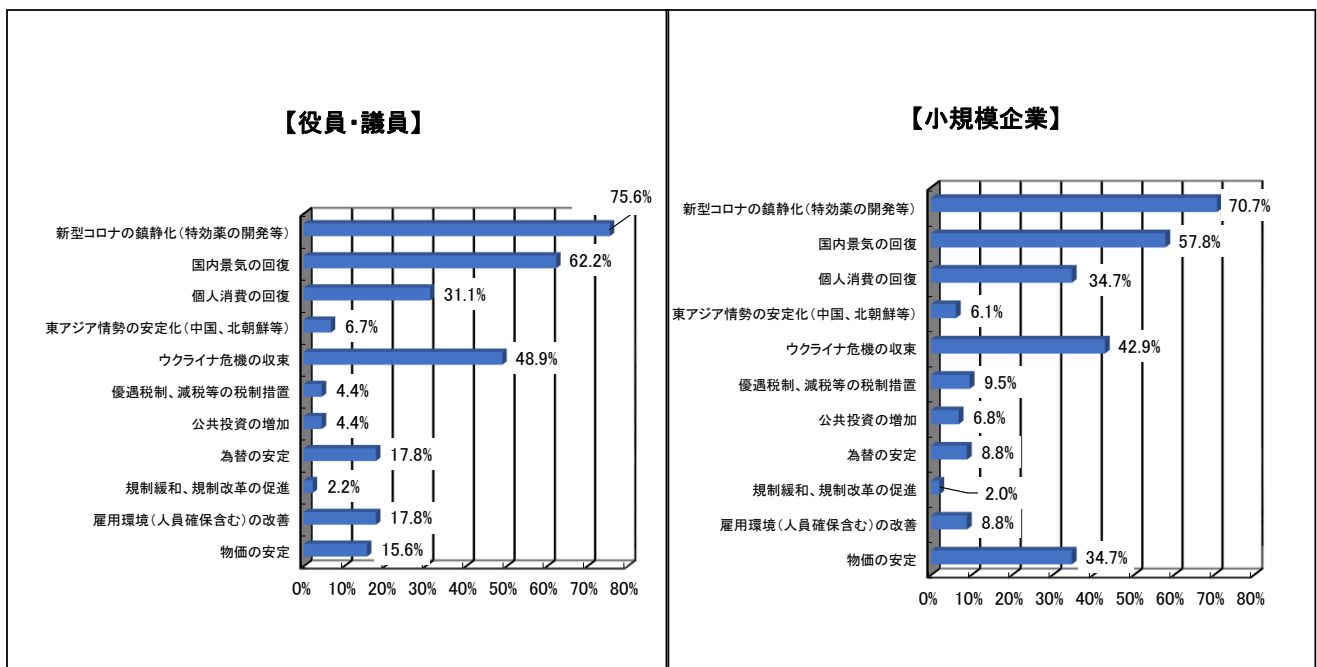
(複数回答)

「新型コロナの鎮静化(特効薬の開発等)」71.9%、「国内景気の回復」58.9%、「ウクライナ危機の収束」44.3%が上位を占めた。



## 規模別での回答

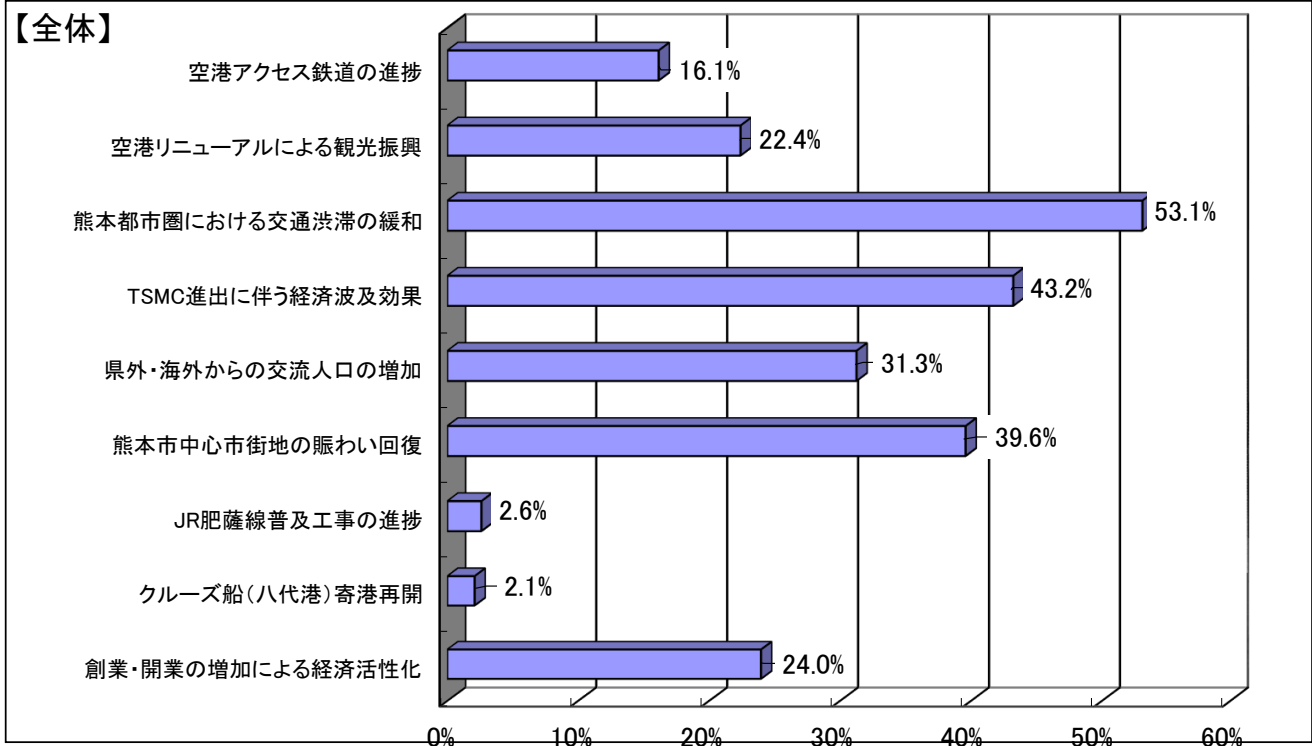
【役員・議員】と【小規模企業】を比較すると、「雇用環境(人員確保含む)の改善」、「物価の安定」について、大きく数値に差が出る結果となった。



## 2023年に期待すること【県内】

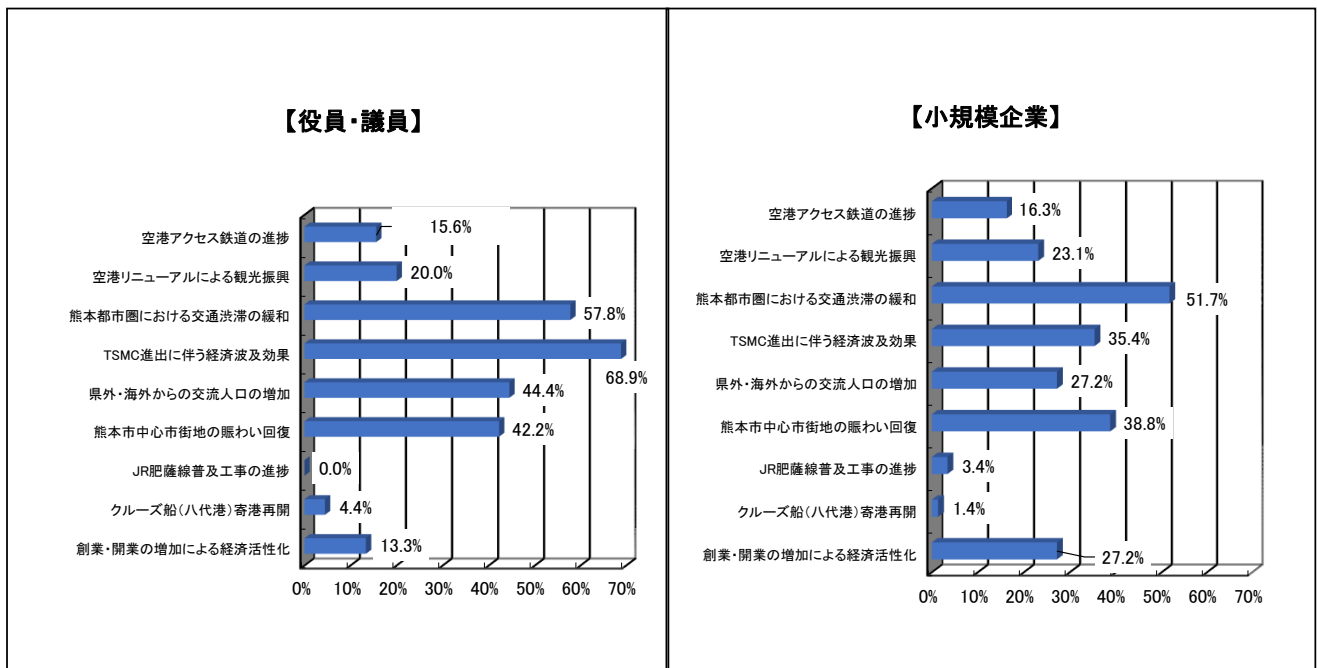
(複数回答)

「熊本都市圏における交通渋滞の緩和」53.1%、「TSMC進出に伴う経済波及効果」43.2%、「熊本市中心市街地の賑わい回復」39.6%が上位を占め、人流の増加、物流の円滑化等による景気回復への期待が高まっている結果となった。



## 規模別での回答

【役員・議員】は「TSMC進出に伴う経済波及効果」、【小規模企業】は「熊本都市圏における交通渋滞の緩和」がトップ。



# 2023年経済予測アンケート

(役員議員・モニター)

## 業種

**Q1** 貴社の業種について、該当する番号を1つだけ○でお囲みください。  
(複数の業種にて営業されている場合は、最も売上の大きい業種を選択してください)

- (1) 製造業                      (2) 建設業                      (3) 運輸・通信業  
(4) 卸・小売業                (5) 飲食業                      (6) 金融・保険業  
(7) サービス業・不動産業    (8) その他 (                      )

## 景気

**Q2** 県内の現在(2022年11月)の景気について、昨年(2021年)11月と比較し、どのように感じておられますか。  
該当する番号を1つだけ○でお囲みください。

- (1) かなり好転                      (2) やや好転  
(3) 変わらない                    (4) やや悪化  
(5) かなり悪化                      (6) その他 (                      )

理由・要因等

## 円市場

**Q3** 円相場の見通しについて、現在(2022年11月17日【円(1ドル=円) [終値] 139.74])の為替水準を基準とすると、どこまで推移すると予測されますか。該当する番号を1つだけ○でお囲みください。

円高基調で推移			円安基調で推移		
120円以下	121円～ 130円以下	131円～ 140円以下	141円～ 150円以下	151円～ 160円以下	161円以上
1	2	3	4	5	6

## 株式市場

Q 4 株式市場の見通しについて、現在（2022年11月17日【日経平均(円)【終値】27,930.57】）の株式市場の水準を基準とすると、どこまで推移すると予測されますか。該当する番号を1つだけ○でお囲みください。

下がる(株安傾向)				上がる(株高傾向)		
25,000 円 以下	25,001 円 ～ 26,000 円以下	26,001 円 ～ 27,000 円以下	27,001 円～ 28,000 円以 下	28,001 円 ～ 29,000 円以下	29,001 円 ～ 30,000 円以下	30,000 円 以上
1	2	3	4	5	6	7

## 金利

Q 5 金利の見通しについて、現在（2022年9月9日【長期プライムレート1.25%/年】）の金利水準を基準とすると、どのように予測されますか。該当する番号を1つだけ○でお囲みください。

下がる(低金利傾向)		変わらない	上がる(高金利傾向)	
0.5%以上下がる	0.01%～0.49%下がる	1.25%を維持	0.01%～0.49%上がる	0.5%以上上がる
1	2	3	4	5

## 物価

Q 6 熊本市の消費者物価指数の見通しについて、現在（2022年10月）の「103.4」（前年同月比4%アップ）ですが、どのように予測されますか。該当する番号を1つだけ○でお囲みください。

(参考資料) 指数：令和2年(2020年) = 100

2022年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
99.7	100.0	100.4	100.8	101.1	101.2	101.6	102.0	102.8

下がる			上がる			
101 以下	101.1～ 102	102.1～ 103	103.1～ 104	104.1～ 105	105.1～ 106	106 以上
1	2	3	4	5	6	7

## 業況

Q 7 貴社の現在（2022年11月）の業況を基準に、2023年の業況の見通しについて、どのように予測されますか。該当する番号を1つだけ○でお囲みください。

- |           |          |
|-----------|----------|
| (1) かなり好転 | (2) やや好転 |
| (3) 変わらない | (4) やや悪化 |
| (5) かなり悪化 |          |



**Q 8** Q 7で「(3) 変わらない」と回答された方以外にお尋ねします。  
 主な要因として考えられることは何ですか。(複数回答可)

■ 「かなり好転」・「やや好転」の要因

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| (1) 売上の増加           | (2) 販売・受注価格の上昇 |
| (3) 原材料・仕入価格の低下     | (4) 人件費の減少     |
| (5) 雇用環境(人員確保含む)の改善 | (6) その他( )     |

■ 「かなり悪化」・「やや悪化」の要因

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| (1) 売上の減少           | (2) 販売・受注価格の低下 |
| (3) 原材料・仕入価格の上昇     | (4) 人件費の増加     |
| (5) 雇用環境(人員確保含む)の悪化 | (6) その他( )     |

**経営の重視点**

**Q 9** 2023年に貴社において重点的に取り組まれることは何ですか。  
 なお、本問では回答集約の都合上、選択肢を下記の7項目に限定させて頂いて  
 おります。該当の口欄に○印をお付けください。

	かなり重視	やや重視	重視しない
1. 売上高(完工高、取扱高)			
2. 収 益			
3. コスト削減			
4. マーケティング・販路開拓			
5. 人材の確保・育成			
6. IT化の推進			
7. 新分野への進出			

**経営の問題点**

**Q 10** 2023年における貴社の経営上において想定される問題点は何ですか。  
 該当する番号を3つ以内で、○でお囲みください。

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| (1) 人手不足                 | (2) 後継者の確保・育成            |
| (3) 需要やニーズの停滞・変化         | (4) 取引条件の悪化              |
| (5) 金利負担の増加              | (6) 事業資金の借入難             |
| (7) 原油価格・材料費・仕入単価の上昇     | (8) 人件費の増加               |
| (9) 材料費・仕入単価・人件費以外の経費の増加 | (10) コスト上昇に伴う価格転嫁への対応    |
| (11) 大型店、競合店の進出による競争激化   | (12) IT化(IoT・AIの活用等)への対応 |
| (13) その他( )              |                          |

## 2023年に期待すること

Q11-1 2023年に特に期待することは何ですか。該当する番号を3つ以内で、○でお囲みください。

### 【国内・海外】

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| (1) 新型コロナの鎮静化（特効薬の開発等） | (2) 国内景気の回復             |
| (3) 個人消費の回復            | (4) 東アジア情勢の安定化（中国、北朝鮮等） |
| (5) ウクライナ危機の収束         | (6) 優遇税制、減税等の税制措置       |
| (7) 公共投資の増加            | (8) 為替の安定               |
| (9) 規制緩和、規制改革の促進       | (10) 雇用環境（人員確保含む）の改善    |
| (11) 物価の安定             |                         |

Q11-2 2023年に特に期待することは何ですか。該当する番号を3つ以内で、○でお囲みください。

### 【県内】

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| (1) 空港アクセス鉄道の進捗      | (2) 空港リニューアルによる観光振興 |
| (3) 熊本都市圏における交通渋滞の緩和 | (4) TSMC進出に伴う経済波及効果 |
| (5) 県外・海外からの交流人口の増加  | (6) 熊本市中心市街地の賑わい回復  |
| (7) JR肥薩線復旧工事の進捗     | (8) クルーズ船（八代港）寄港再開  |
| (9) 創業・開業の増加による経済活性化 |                     |

## コメント

熊本経済の発展やコロナ禍からの脱却に向けて、必要なこと、期待すること等について、ご意見、ご提言等ございましたら、ご自由にご記入願います。

※差支えなければ、事業所名のご記入をお願いいたします。

(事業所名)

お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。

熊本商工会議所 商工観光振興部 商工観光振興課

TEL 096-354-6688 FAX 0120-268-343 / 096-352-5202